

0 1 : 3 20cm



31 四重弧文BⅡ1



32 四重弧文BⅡ2



33 四重弧文BⅡ3



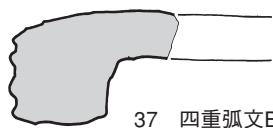
34 四重弧文BⅡ4



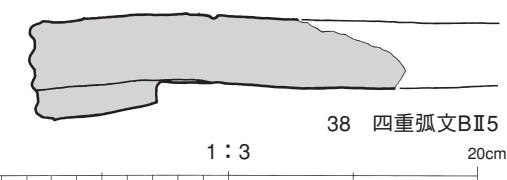
35 四重弧文BⅡ7



36 四重弧文BⅡ8

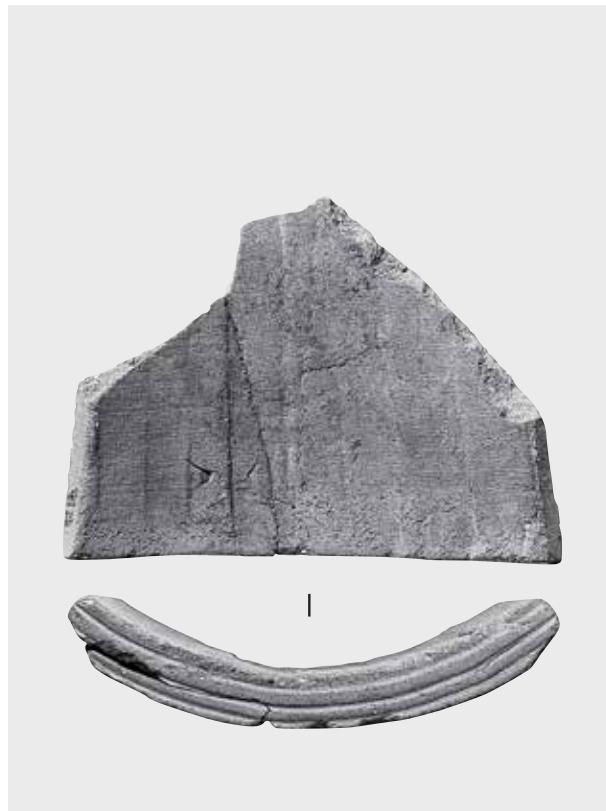


37 四重弧文B II 6

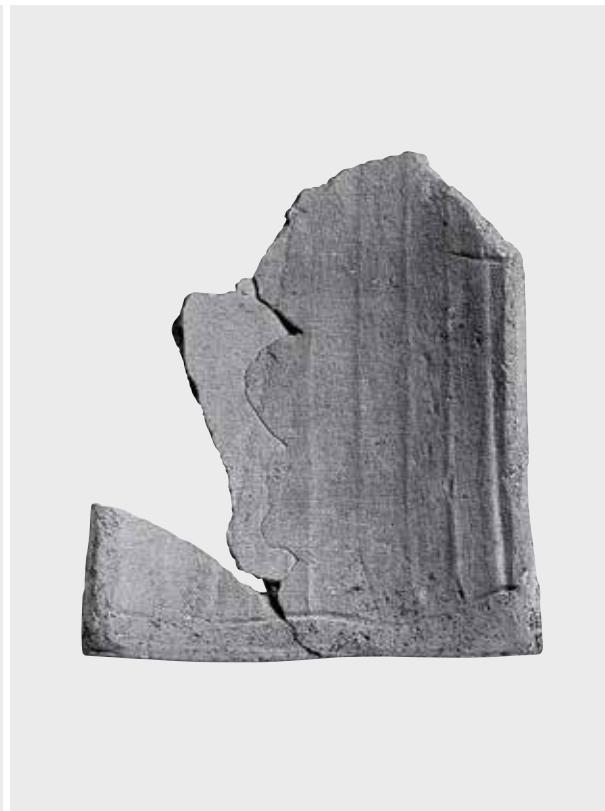


38 四重弧文B II 5

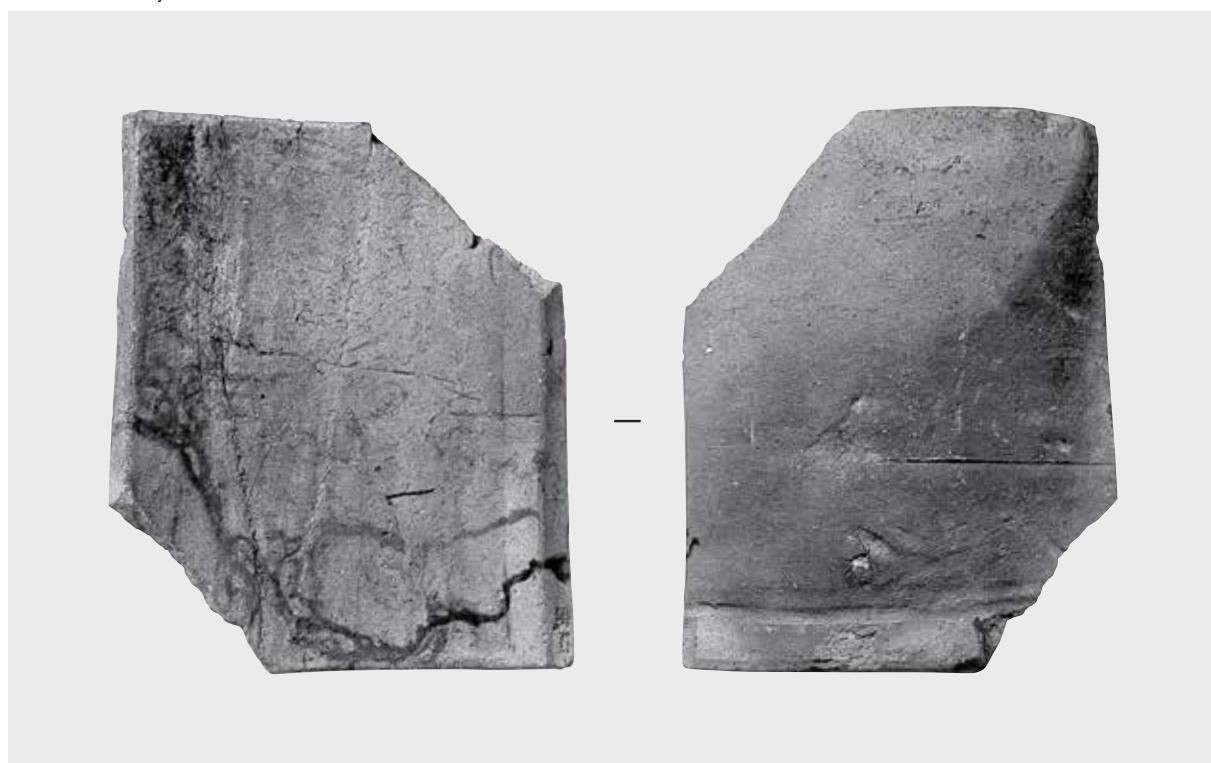
0 1 : 3 20cm



1 隅軒平瓦。布jの綴じ合わせ目（左）と縫い目（右）(B II 8)。

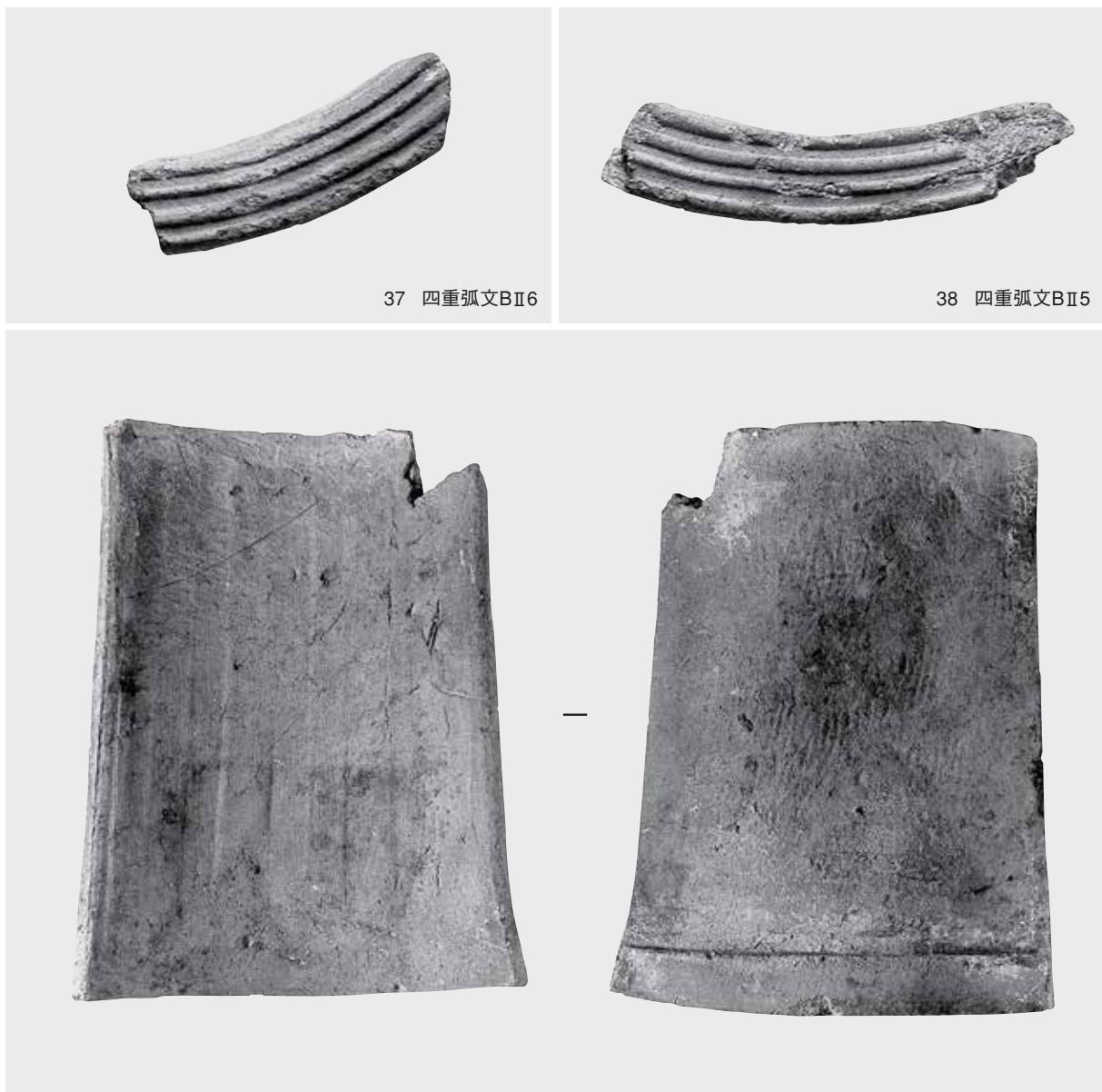


2 側板痕と粘土板合わせ目Z (B II 4)。



3 凹凸面の調整。凹面に布jの布綴じ痕跡 (B II 1)。

1 : 3 (1~3は1 : 6)

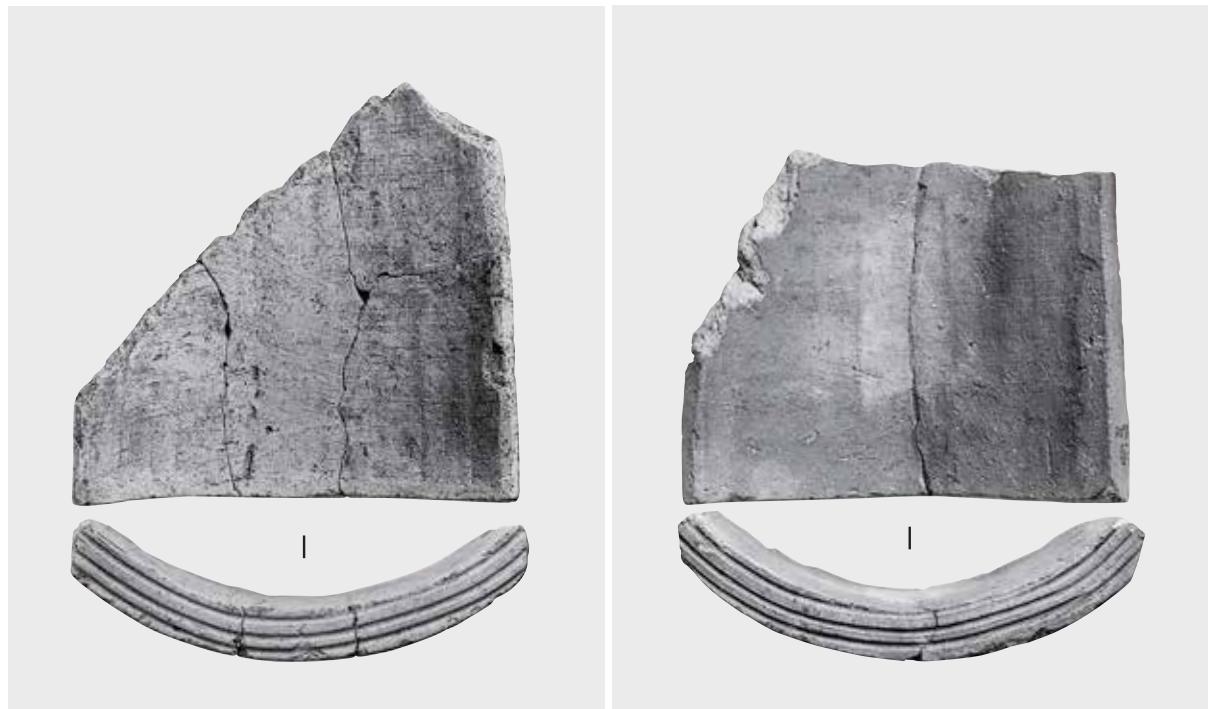


1 凹面は両端部以外、調整しない。凸面ナデ調整だが、斜格子叩き目あり (B II 1)。



2 桶側板痕は上下で段差が逆転。桶中段に綴じ紐 (B II 1)。

4 瓦当面のキザミ。施文後の分割を示す (B II 1)。



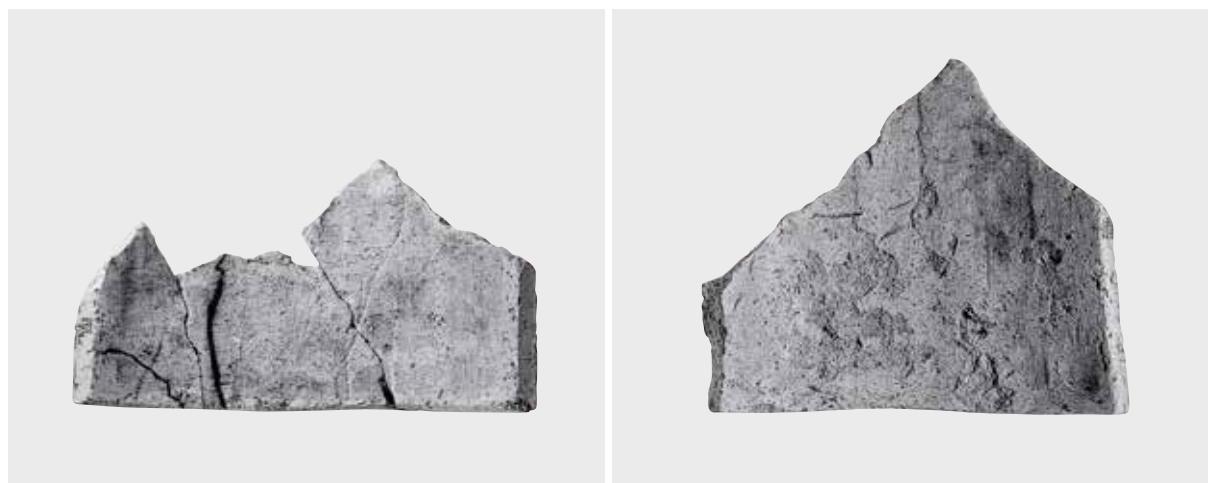
1 平瓦部を打ち欠いて作った隅軒平瓦 (BI2)。

2 同左 (BI3)。



3 布eの縫い目 (左) と綴じ合わせ目 (右、BI1)。

4 布fの互いに平行する縫い目と綴じ合わせ目 (BI1)。



5 布eの綴じ合わせ目 (中央右寄り、BI1)。

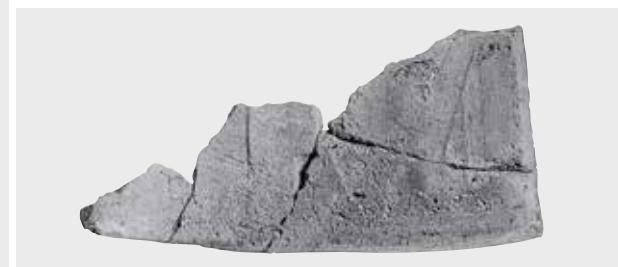
6 布gの綴じ合わせ目 (BI2)。



1 粘土板合わせ目Zと布袋のダーツ。布hか (B12)。



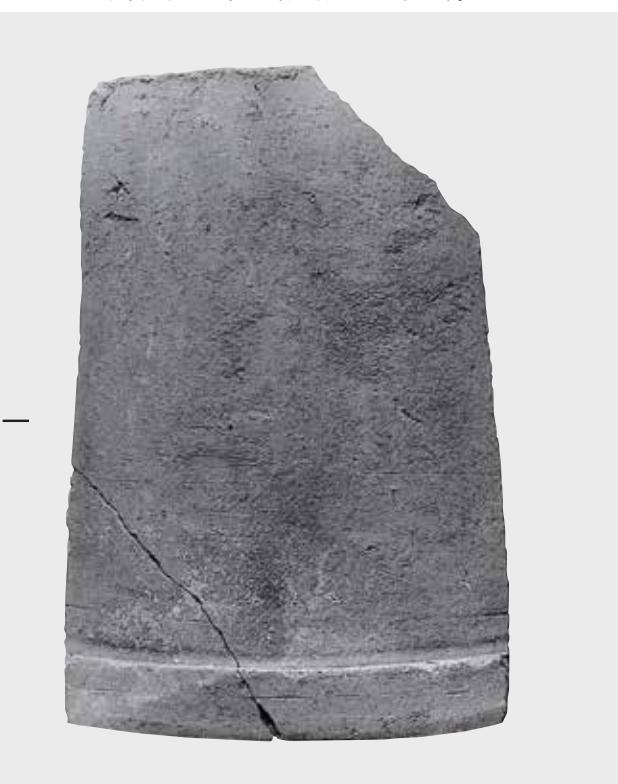
2 布hの綴じ合わせ目と縫い目 (B14)。



3 2 とは表裏逆転した布hの綴じ合わせ目 (B14)。



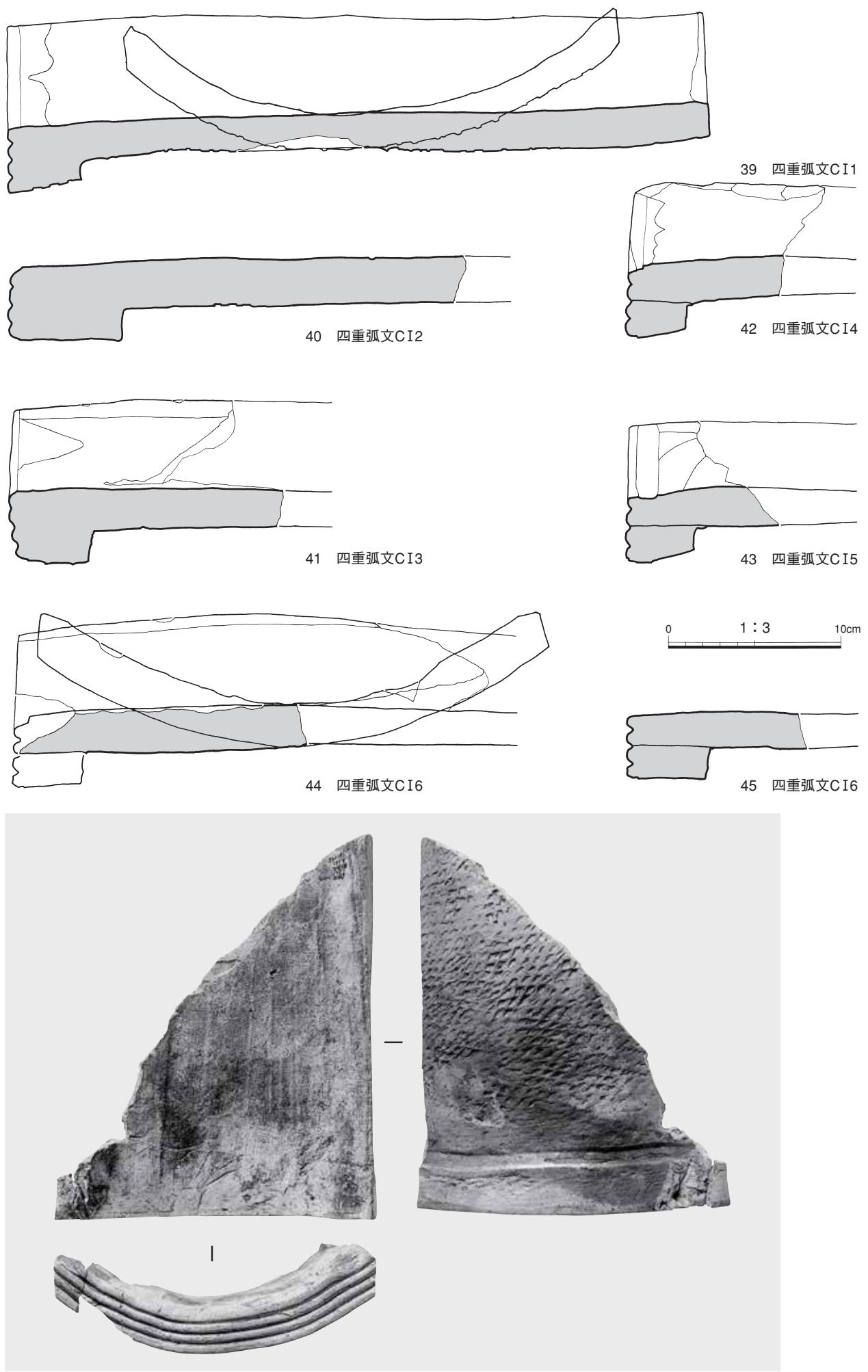
4 B12の凹凸面。凹面ナデ調整。狭端部に内叩き痕跡。凸面全面ヨコナデ調整。



5 瓦当部に残る分割線 (B12)。



6 施文具がずれて重複 (B14)。



1 平瓦部を打ち欠いて作った隅軒平瓦 (CI1)。

1:3 (1は1:6)



39 四重弧文CI 1



40 四重弧文CI 2



41 四重弧文CI 3



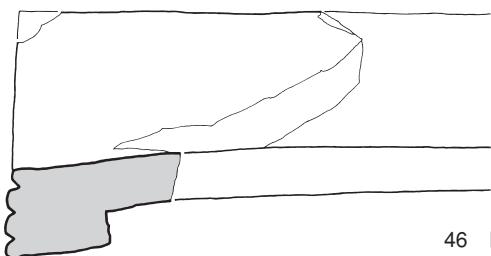
42 四重弧文CI 4



43 四重弧文CI 5



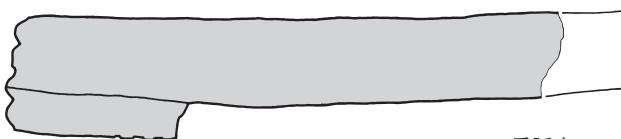
44 四重弧文CI 6



46 四重弧文CI7



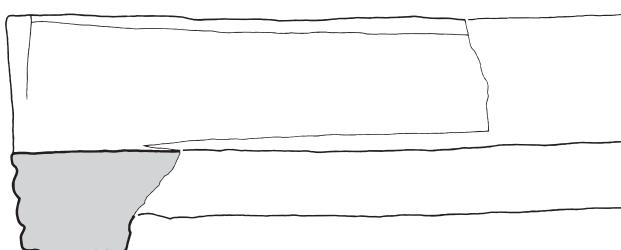
47 四重弧文CI8



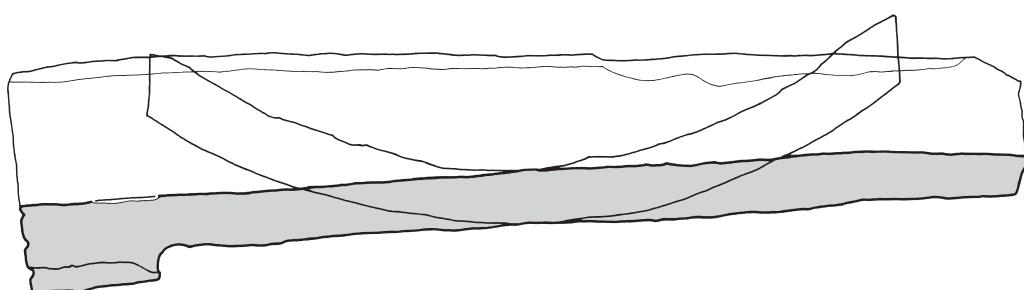
48 四重弧文CI9



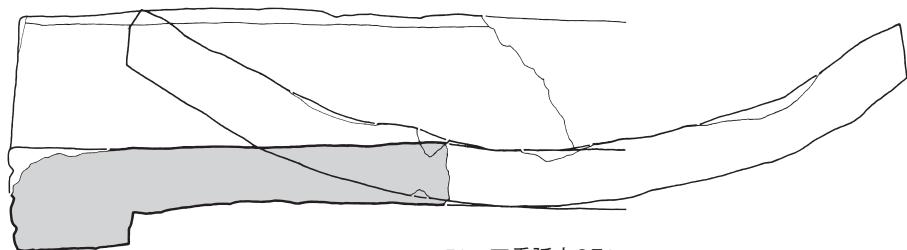
49 四重弧文CI10



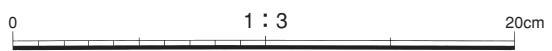
50 四重弧文CI11



52 四重弧文CI12



51 四重弧文CI12





46 四重弧文 C I 7



47 四重弧文 C I 8



48 四重弧文 C I 9



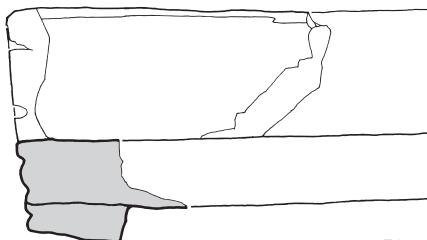
49 四重弧文 C I 10



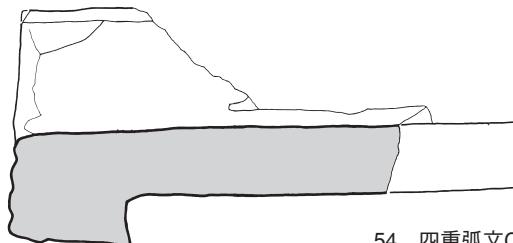
50 四重弧文 C II 1



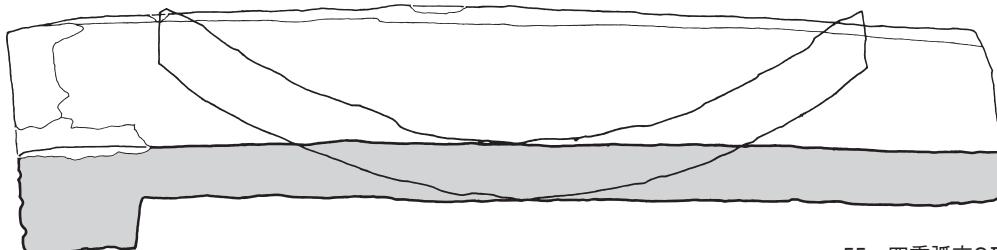
50 四重弧文 C II 2



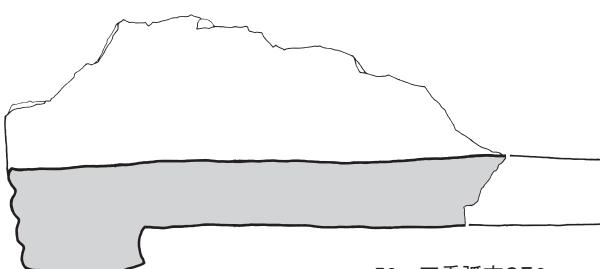
53 四重弧文CⅡ3



54 四重弧文CⅡ4



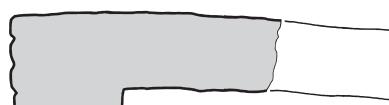
55 四重弧文CⅡ5



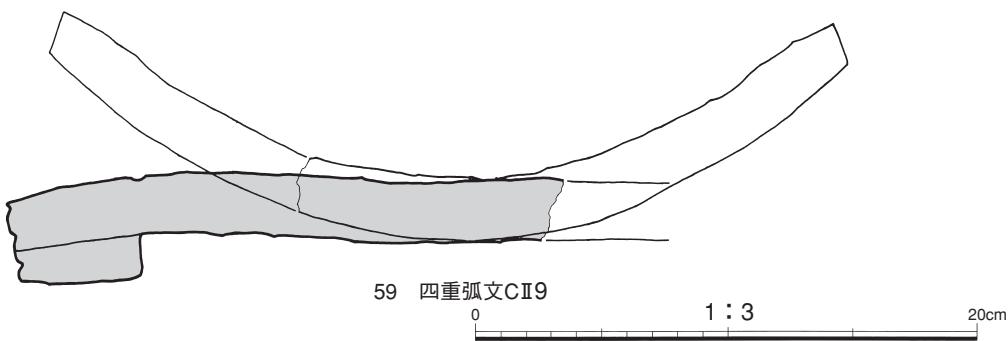
56 四重弧文CⅡ6



57 四重弧文CⅡ7



58 四重弧文CⅡ8



59 四重弧文CⅡ9

0 1 : 3 20cm



53 四重弧文CⅡ3



54 四重弧文CⅡ4



55 四重弧文CⅡ5



56 四重弧文CⅡ6



57 四重弧文CⅡ7



58 四重弧文CⅡ8



59 四重弧文CⅡ9



1 凹面左側に布kの綴じ合わせ目と縫い目。凸面斜格子叩き目。叩き締めの円弧を描く (CI1)。



2 布mの綴じ合わせ目 (CI1)。



3 頸剥離面のキザミ目 (CI1)。



4 CI2の凹凸面。凹面不調整。分割凸帯の紐は中途で桶にくぐる。顎面ナテ調整だが叩き目あり。



5 CI4の凹凸面。凹面中央に粘土板合わせ目Z、右側に布oの綴じ合わせ目と縫い目。顎剥離面にはキザミ目。



1 CI3の凹凸面。凹面はヘラケズリ調整。内叩き痕跡あり。凸面と顎面に叩き目。



2 CI5も凹面はヘラケズリ調整。施文具のあたりは深い。凸面顎剥離面にはキザミ目なし。



3 CI2凹面の斜格子叩き目。

4 CI9の凹凸面。凹面全面ヘラケズリ調整。顎面に叩き目。



5 CI1顎剥離面のキザミ目と布圧痕。

6 CI5顎剥離面と凹型台圧痕。

7 CI2顎剥離面の叩き目。



8 顎接合粘土板の合わせ目 (CI1)。

9 同前 (CI2)。

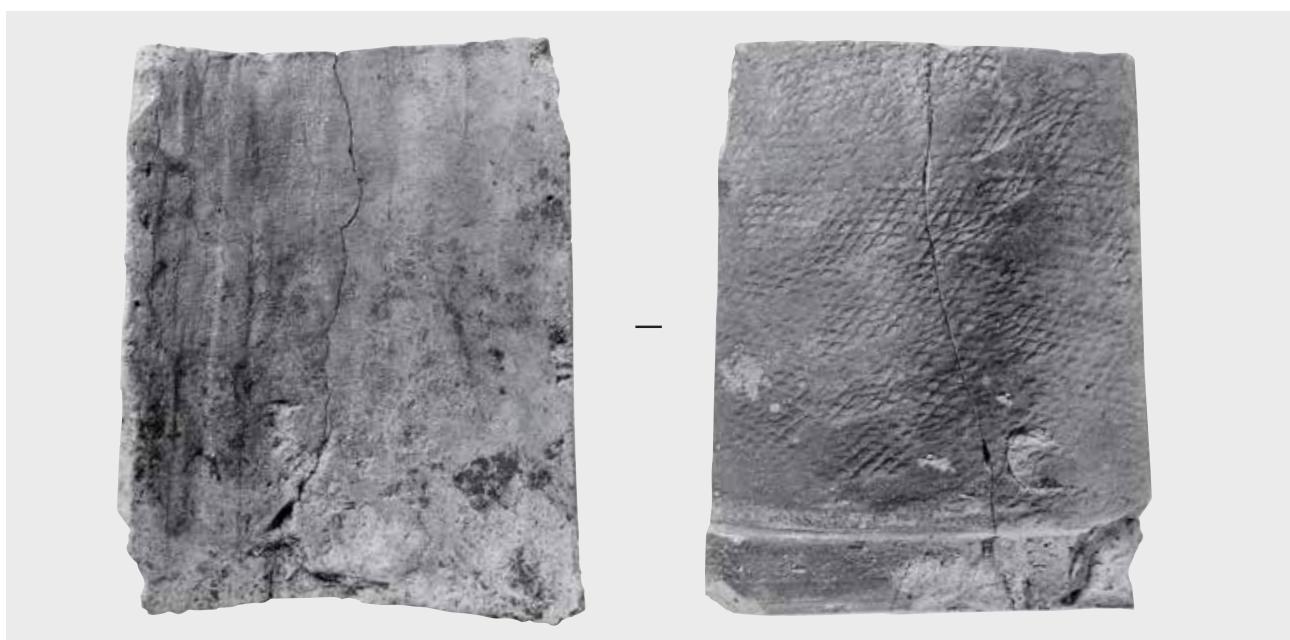
10 CI5凹面の内叩き痕跡。



1 CII1の凹凸面。凹面不調整。桶側板痕と糸切り痕明瞭。凸面叩き目は叩き締めの円弧。斜格子叩き目2種。



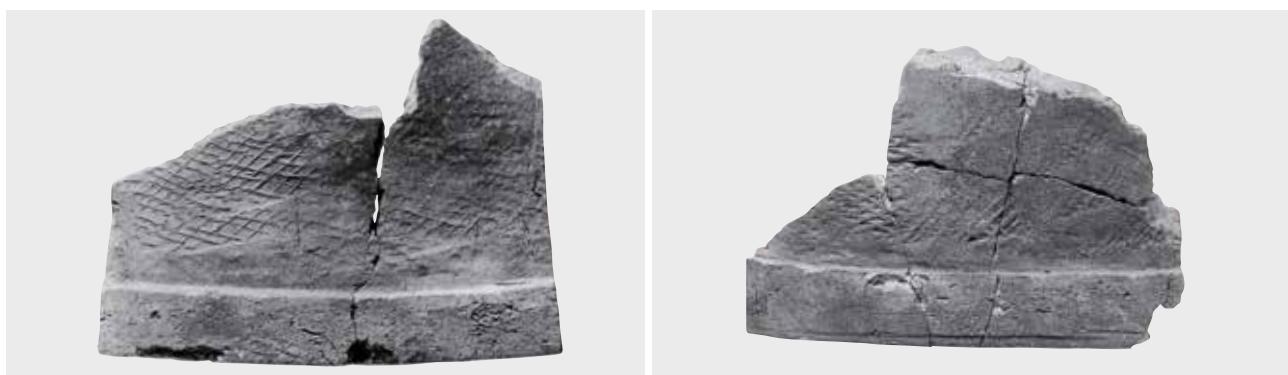
2 凹面左半中央に布綴じr。分割凸帯は紐。凸面斜格子叩き2種。顎剥離面に叩き目とキザミ目 (CII1)。



3 凹面左側辺に粘土板合わせ目S。顎面は全面ヘラケズリ調整。段部に凹型台の圧痕 (CII1)。



1 C II5の凸面。凹面側板痕、糸切り痕、内叩き痕。凸面と顎面に斜格子叩き目。



2 C II2の凸面。顎面はヘラケズリ。

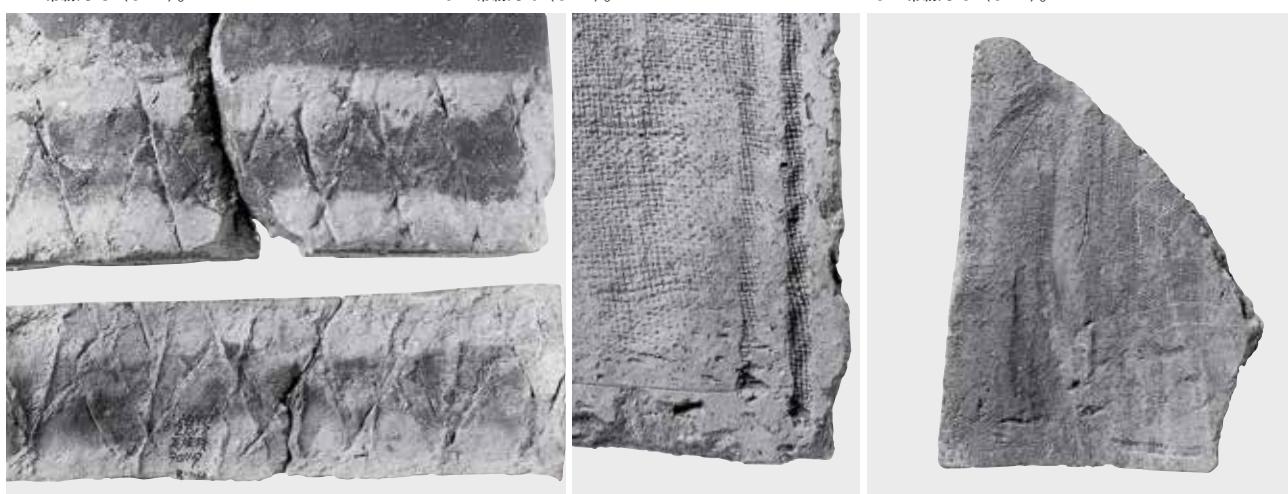
3 C II6の凸面。顎面のヘラケズリと型のあたり。



4 布綴じs (C II1)。

5 布綴じt (C II2)。

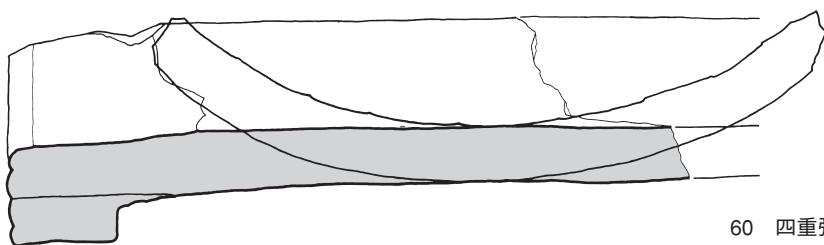
6 布綴じu (C II4)。



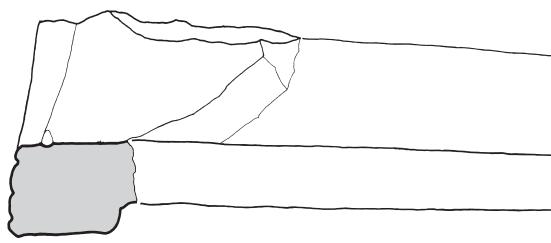
7 顎剥離面のキザミ目とそのネガ (C II1)。

8 分割凸帯の紐 (C II2)。

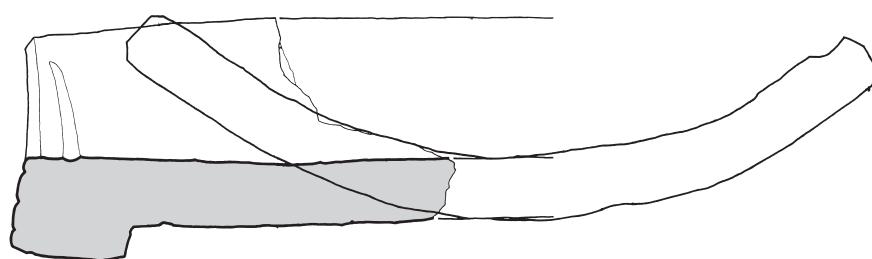
9 焼成後ヘラ書「南十二」(C II2)。



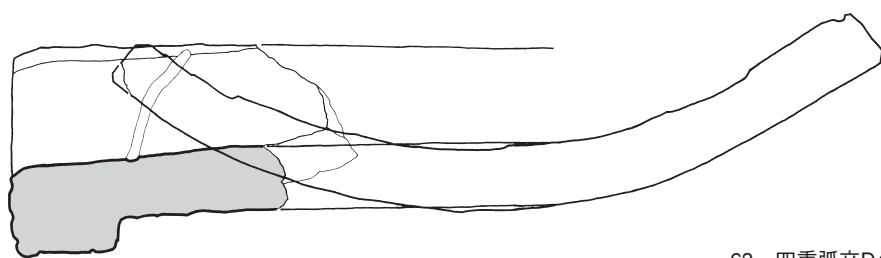
60 四重弧文D1



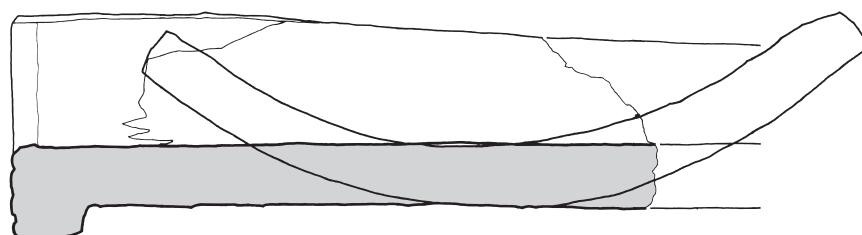
61 四重弧文D2



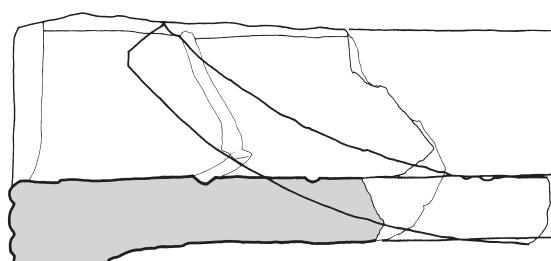
62 四重弧文D3



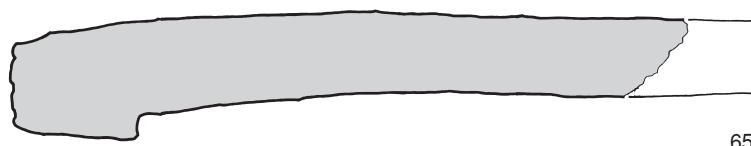
63 四重弧文D4



66 四重弧文D4



64 四重弧文D5



65 四重弧文D6

0 1 : 3 20cm



60 四重弧文D1



61 四重弧文D2



62 四重弧文D3



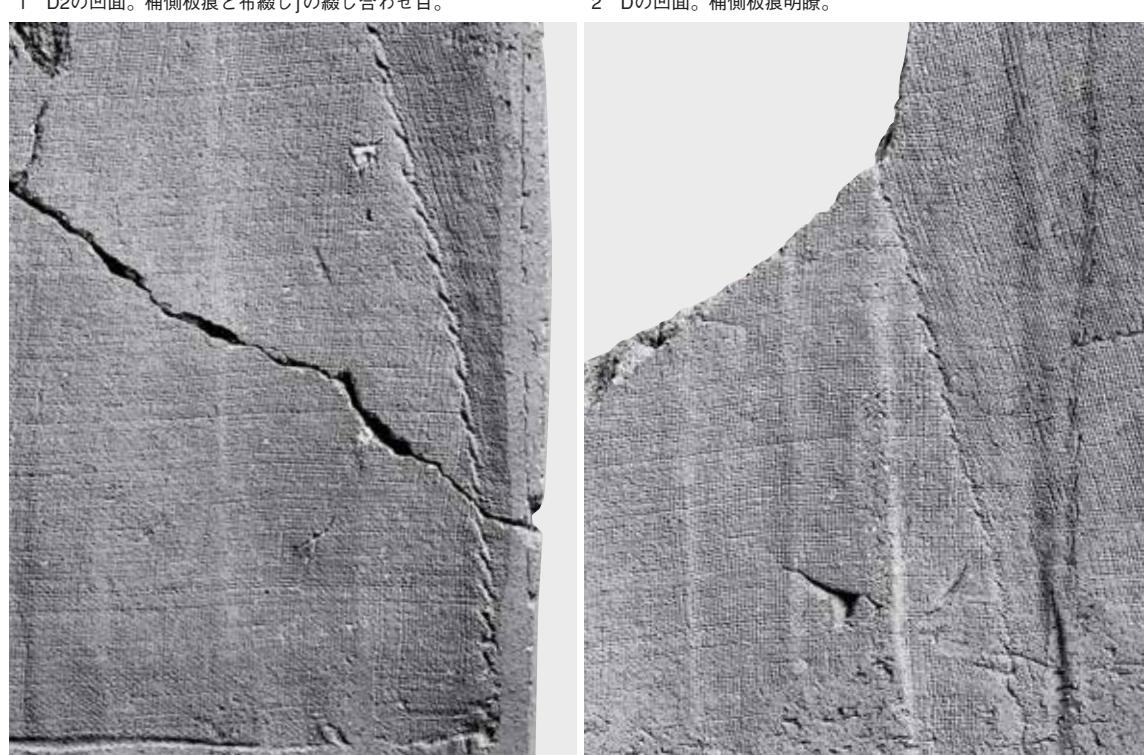
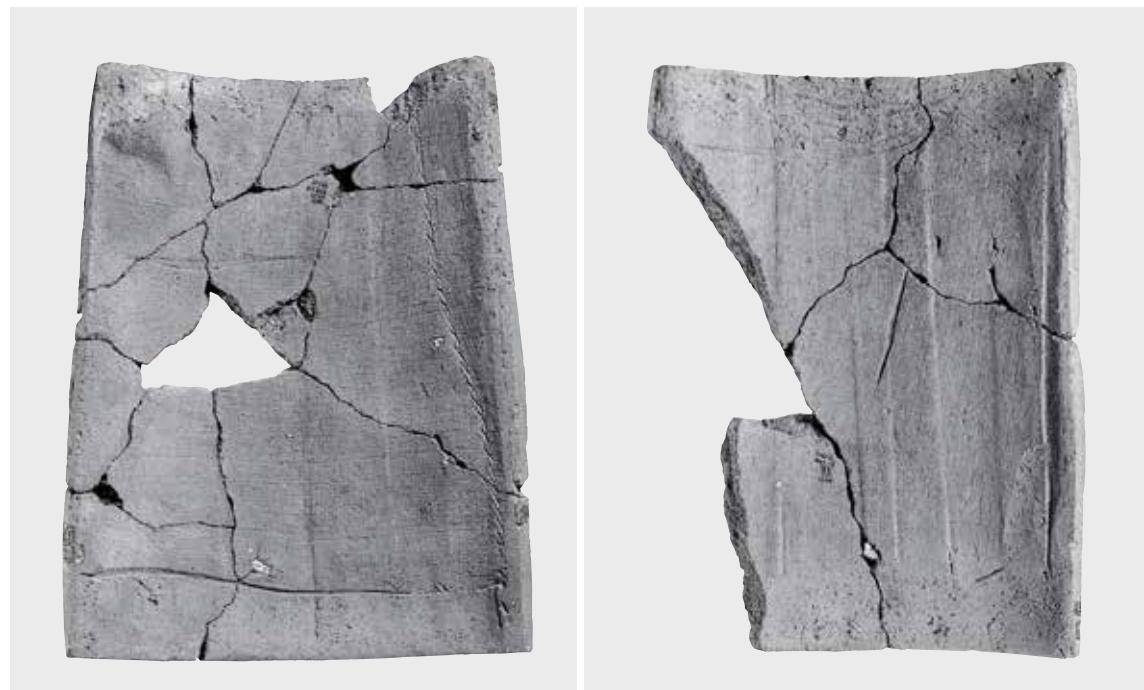
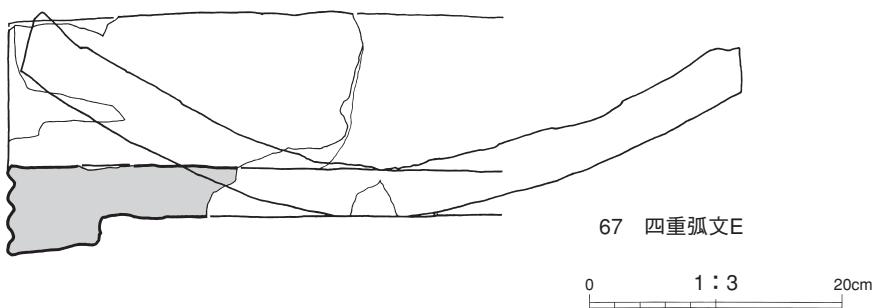
63 四重弧文D4



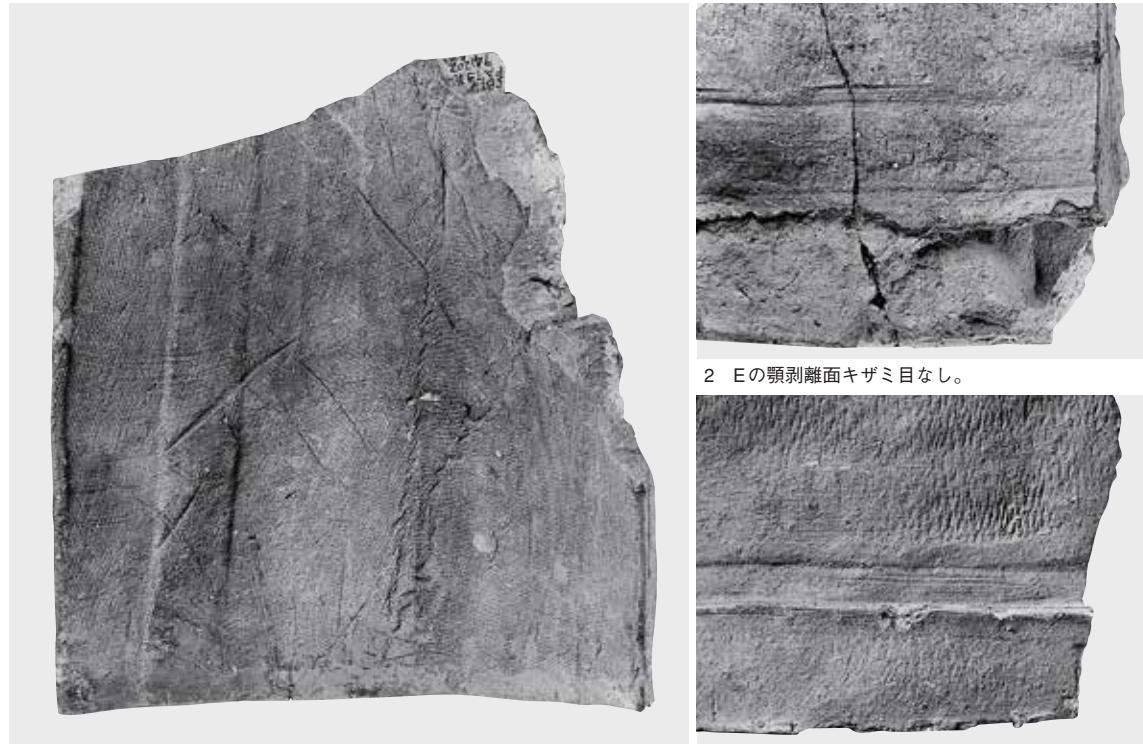
64 四重弧文D5

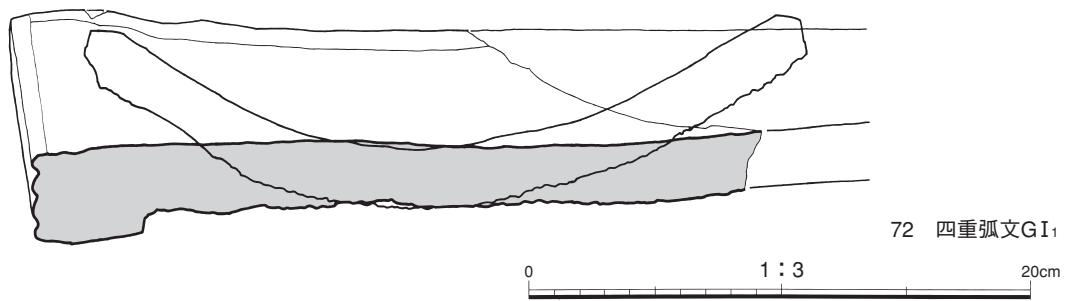
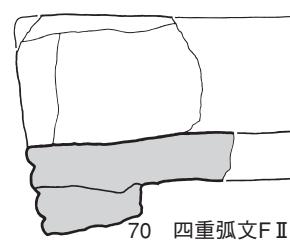
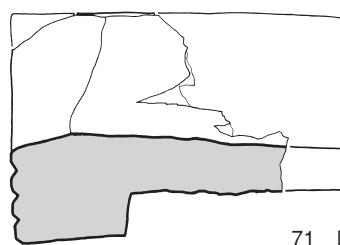
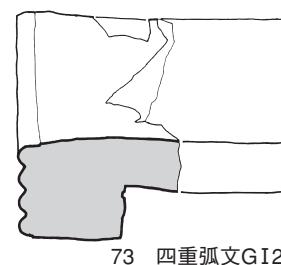
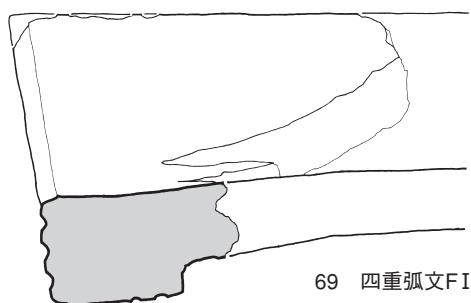
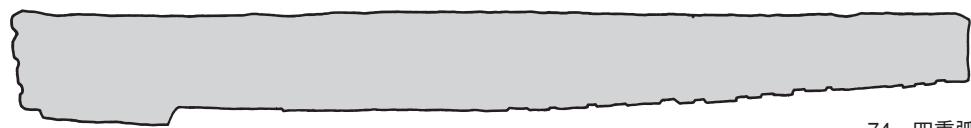
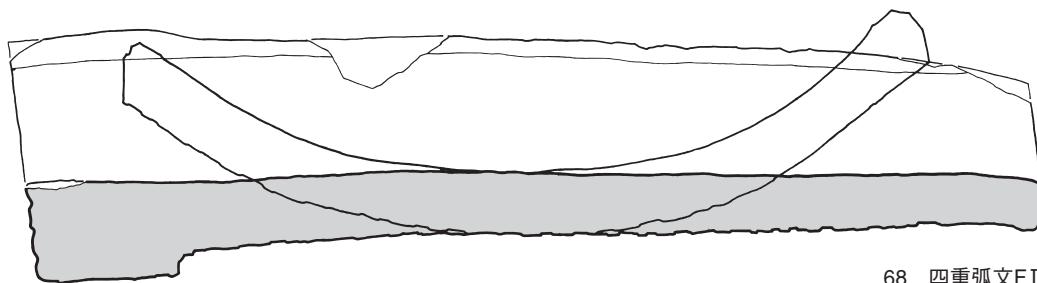


65 四重弧文D6



1:6 (1~3を除く。1・2は1:6)







68 四重弧文 F I 1



69 四重弧文 F I 2



70 四重弧文 F II



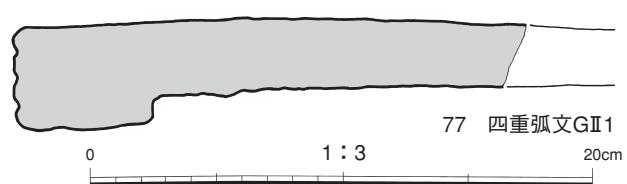
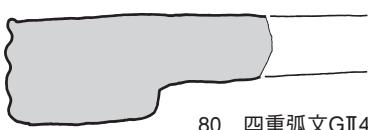
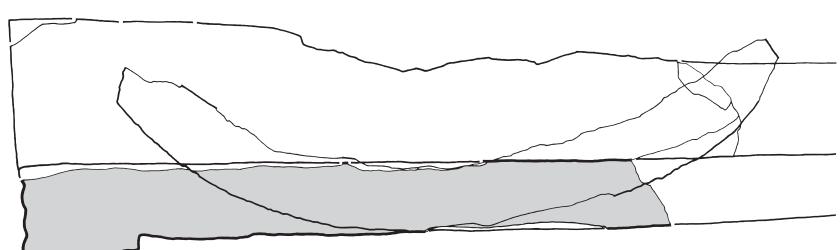
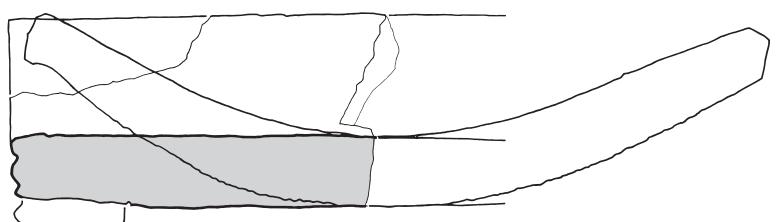
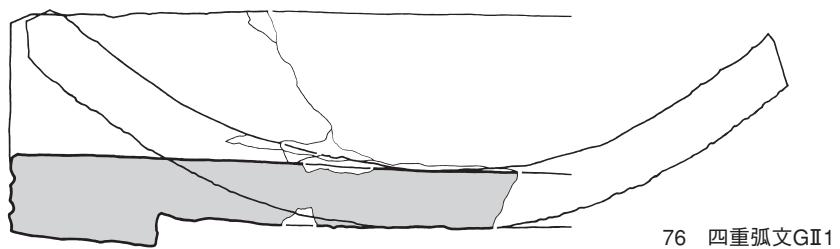
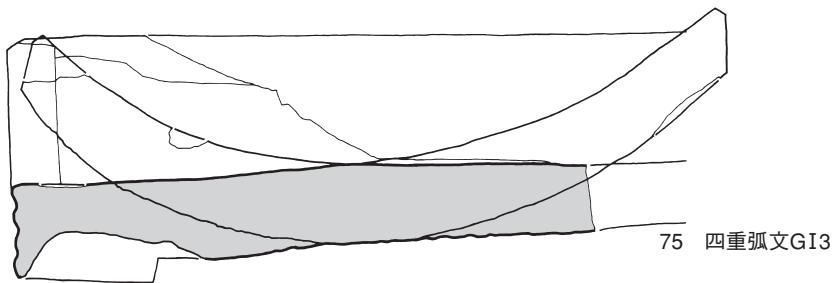
71 四重弧文 F II



72 四重弧文 G I 1



73 四重弧文 G I 2



0 1 : 3 20cm



75 四重弧文G I 3



76 四重弧文G II 1



77 四重弧文G II 1



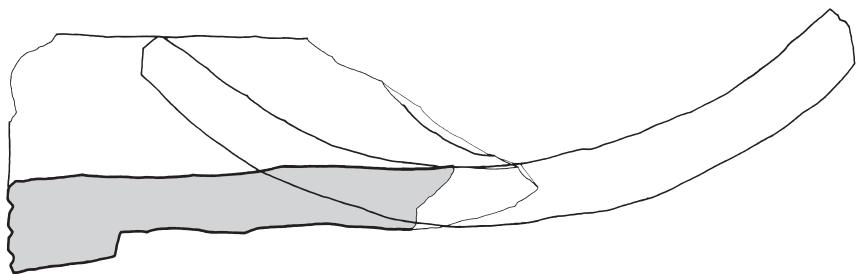
78 四重弧文G II 2



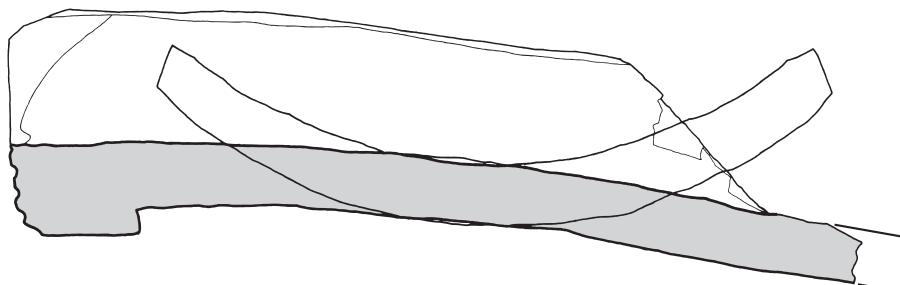
79 四重弧文G II 3



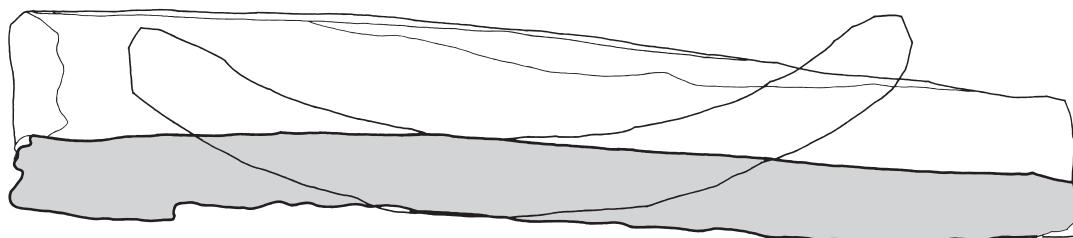
80 四重弧文G II 4



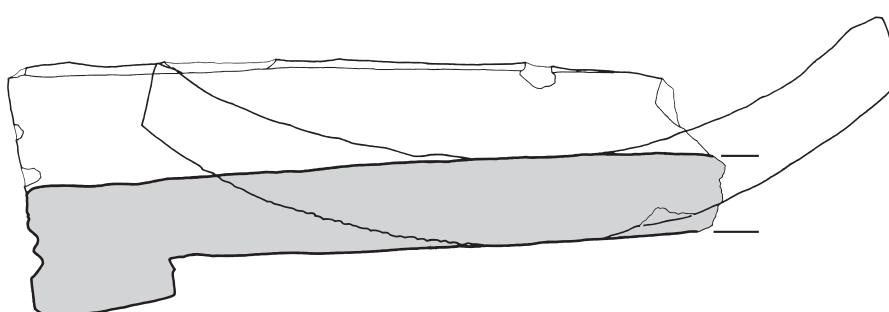
81 四重弧文H I 1



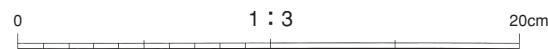
82 四重弧文H II



83 四重弧文H III 1



84 四重弧文H III 2





81 四重弧文H I 1



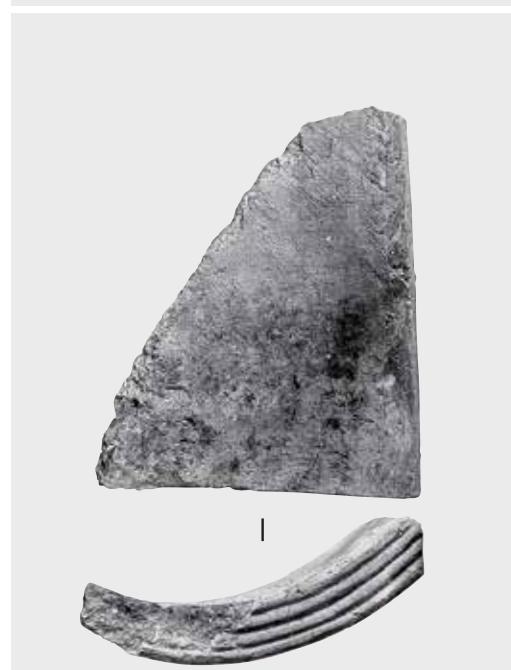
82 四重弧文H II



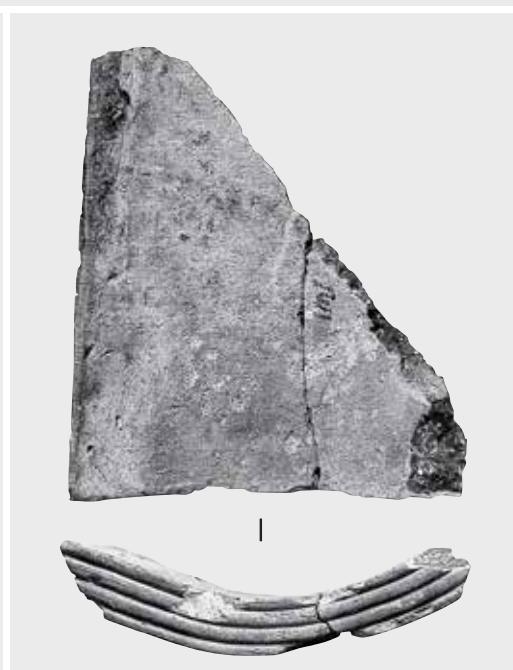
83 四重弧文H III 1



84 四重弧文H III 2

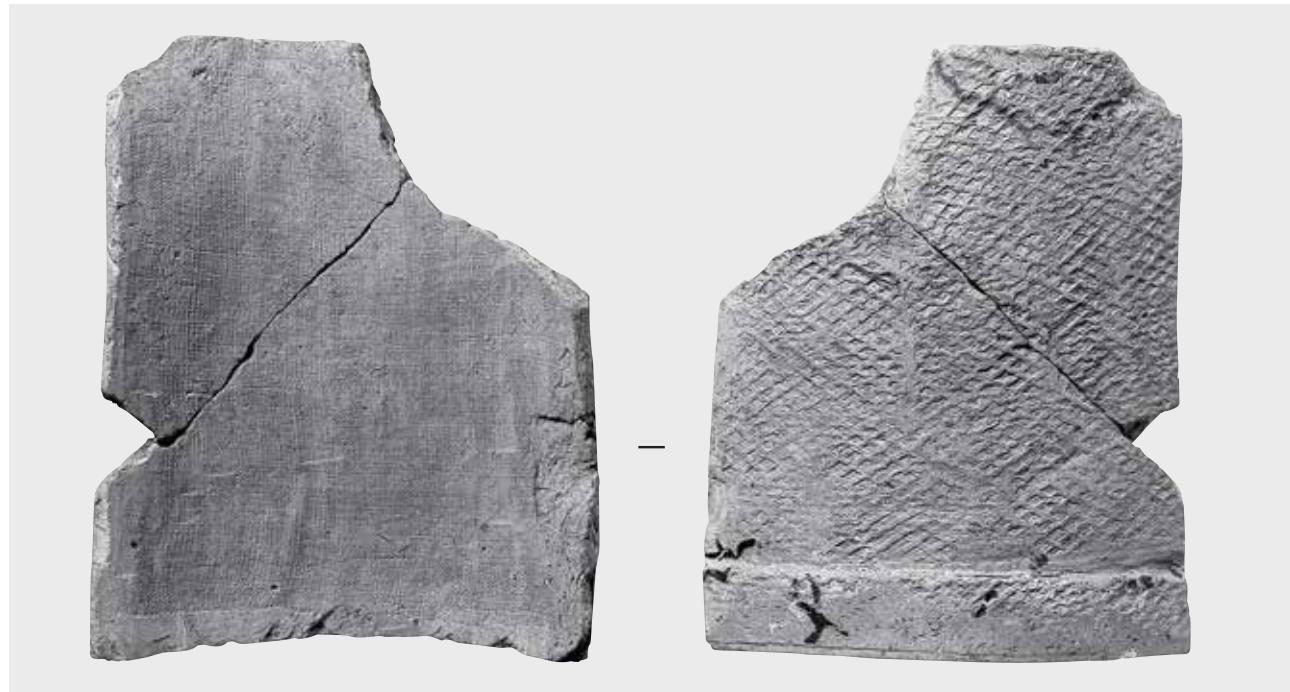


1 HI 1の隅軒平瓦。



2 GI 1の隅軒平瓦。

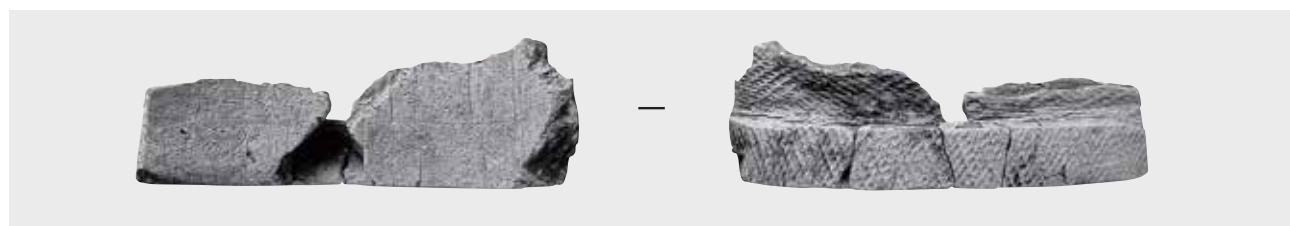
1 : 3 (1・2を除く。1は1 : 6)



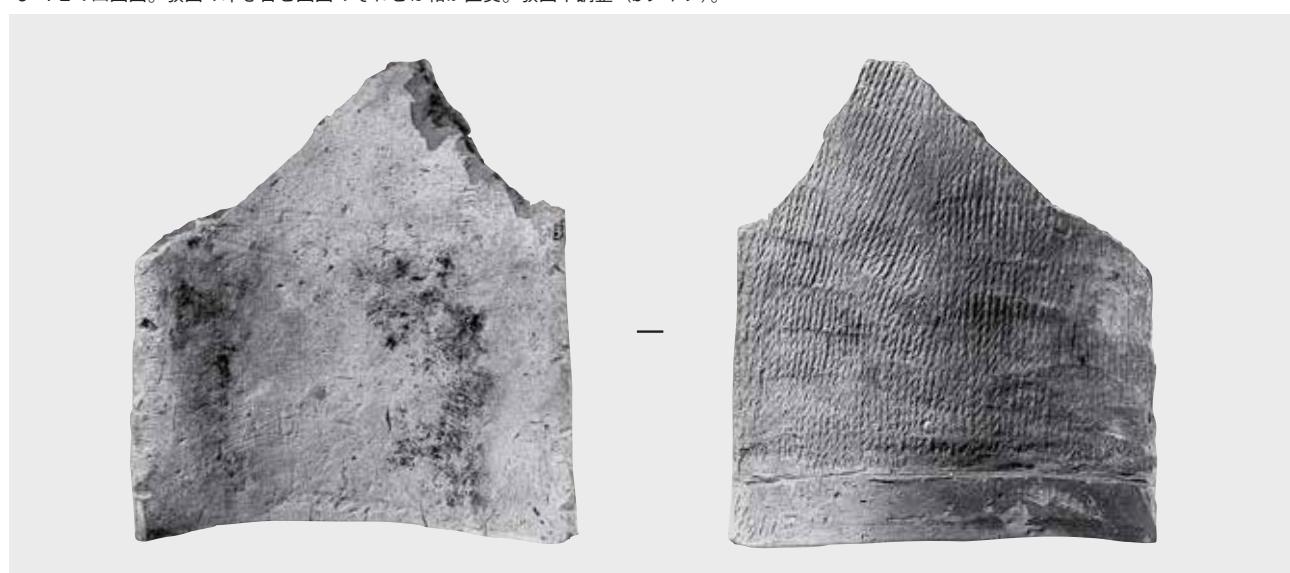
1 FIは金堂修理用で大型。凹面側板痕なし、内叩き痕あり。凸面粗い斜格子叩き目。顎面ヘラケズリ調整。



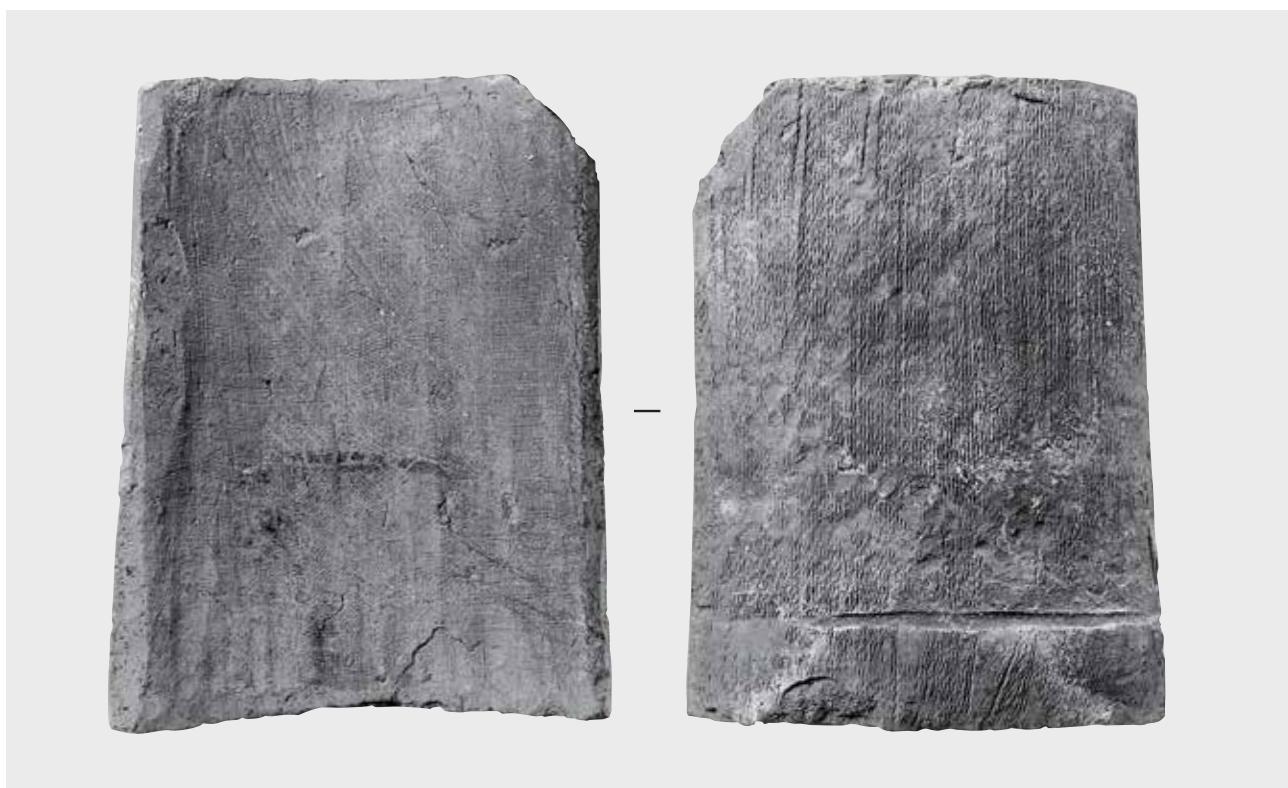
2 FIの凹凸面。FIより小型。凸面叩き目は細かい斜格子。顎面ヘラケズリ調整 (aタイプ)。



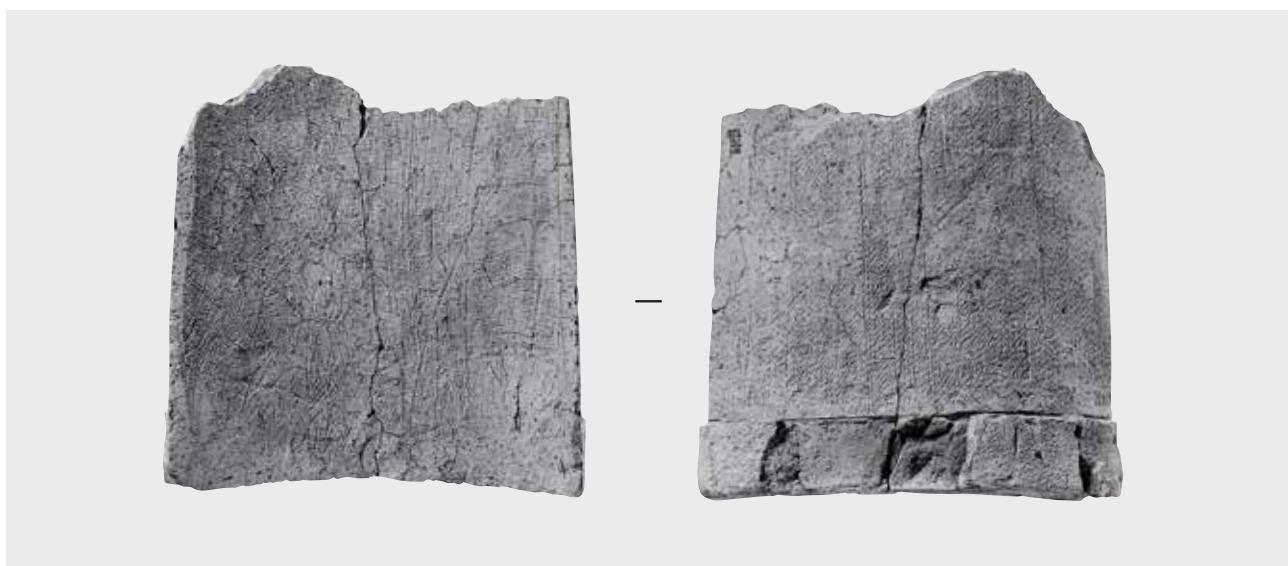
3 FIの凹凸面。顎面の叩き目と凸面のそれとは軸が直交。顎面不調整 (bタイプ)。



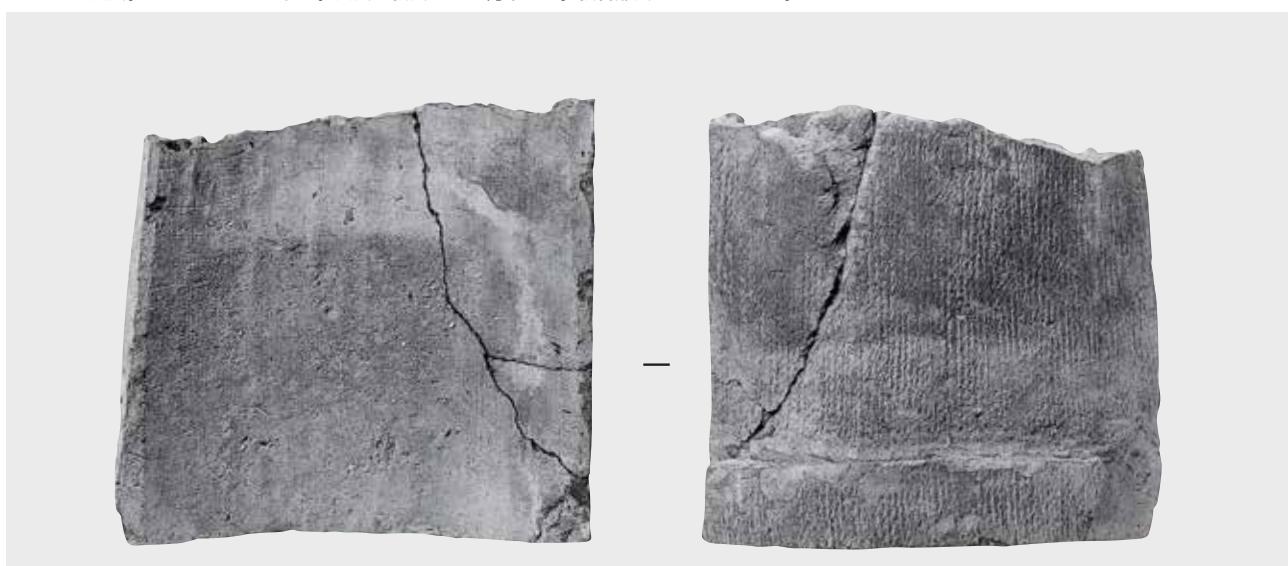
4 GI1の凹凸面。凸面の縄叩き目は左右で方向が違う。顎面ヘラケズリ調整。



1 HIII1の凹凸面。FIと同規格で大型。凹面に内叩き痕。凸面と顎面にタテ縄叩き目。



2 HII凹凸面。HIII1より一回り小型。凸面と顎面にタテ縄叩き目。顎剥離面にキザミ目なし。



3 HIII2の凹凸面。凹面に内叩き痕。凸面と顎面にタテ縄叩き目。段部に凹型台の圧痕。



1 F1 頸接合粘土の剥離面。キザミ目とそのネガ。



2 F1の頸剥離面。キザミ目のネガ。



3 F2の頸剥離面。キザミ目とそのネガ。



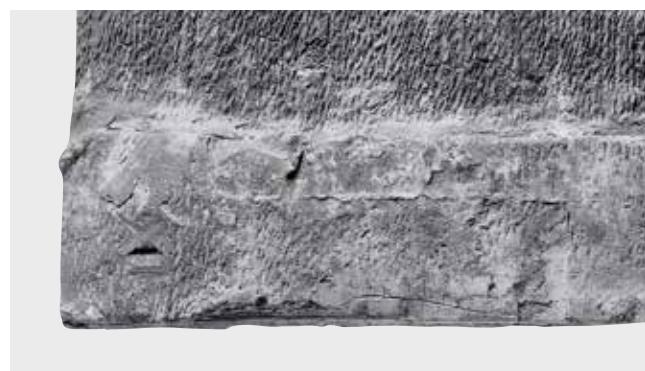
4 GI1の凸面。頸面の叩き目と段部の凸型台圧痕。



5 GI4の頸面。叩き目とヘラケズリ調整。



6 GI4の頸剥離面キザミ目。



7 HIの頸面。叩き目と凹型台圧痕。



8 HI3の頸剥離面。縄叩き目あり。



1 F1の瓦当面。施文前のヘラケズリと施文具の動き。



2 H1の瓦当面。瓦范の木目。



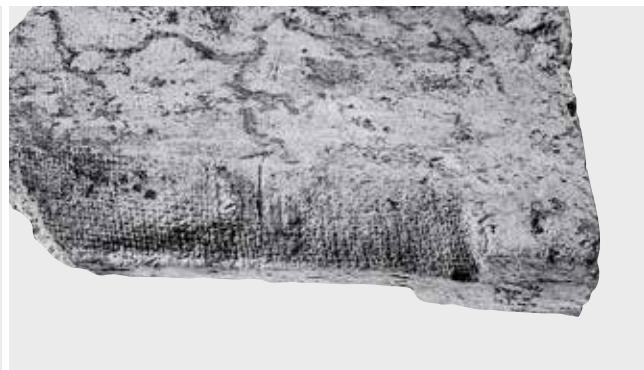
3 H2の瓦当面。瓦范の木目。



4 H3瓦当面の布压痕。



5 F2侧面の布压痕。



6 G1侧面の布压痕。



7 G2侧面にある凸型台の压痕。



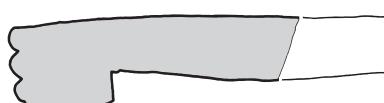
8 H3侧面の布压痕。



9 F1狭端面の布压痕。



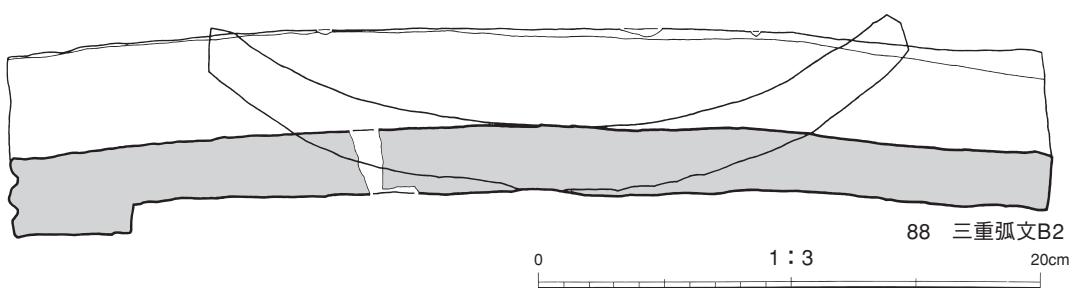
10 G1狭端面の布压痕。



85 三重弧文A1

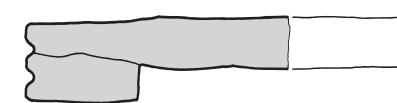


87 三重弧文B1

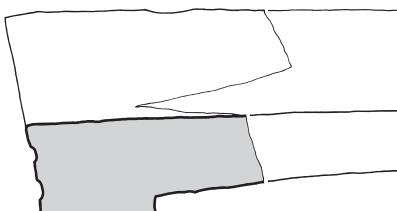


88 三重弧文B2

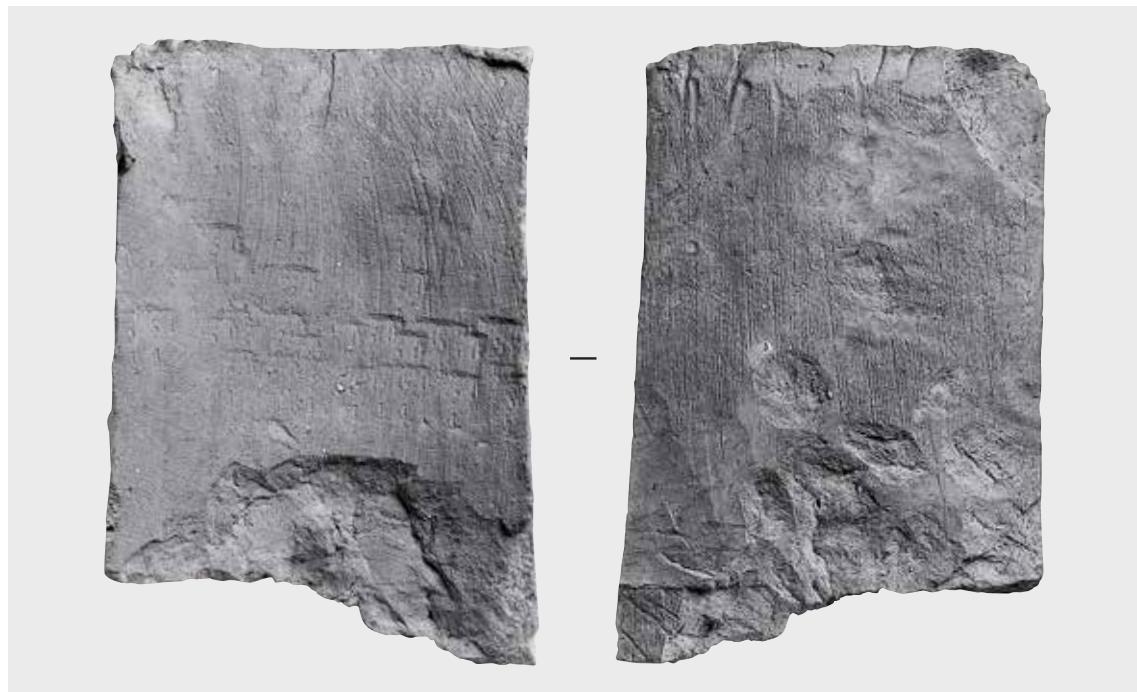
0 1:3 20cm



86 三重弧文A2



89 三重弧文C



1 三重弧Cの凹凸面。凹面に内叩き痕。凸面の顎剥離面に縄叩き目とキザミ目。



2 三重弧B2瓦当面の施文具の動き。



3 三重弧Cの瓦当面。瓦范の木目。

1:3 (1は1:6)



85 三重弧文A 1



86 三重弧文A 2



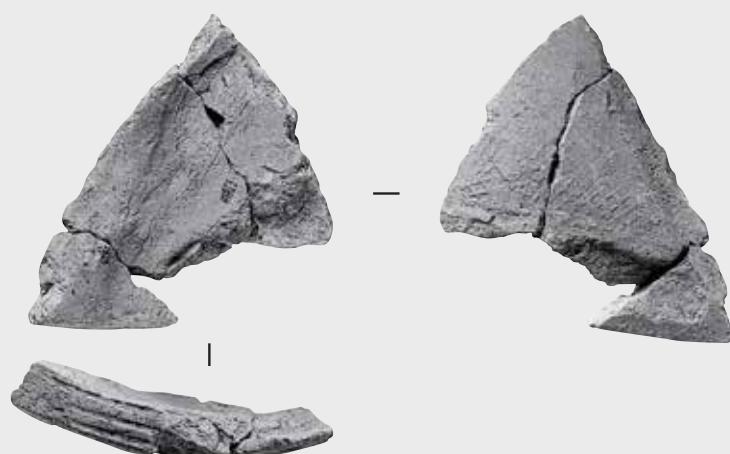
87 三重弧文B 1



88 三重弧文B 2

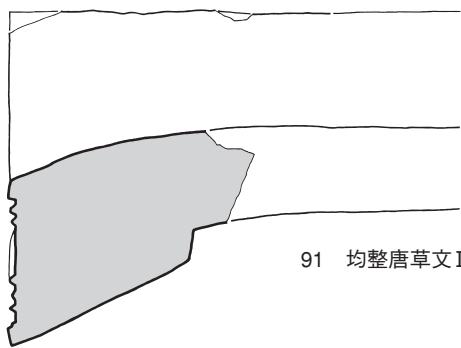


89 三重弧文C

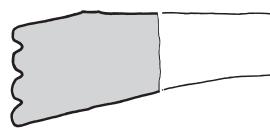


1 四重弧文隅軒平瓦。斜めの側辺をゆるく立ち上げる。凹面全面ナデ調整。凸面に斜格子叩き目。

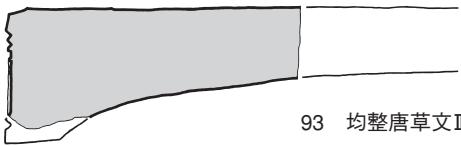
1 : 3 (1は1 : 6)



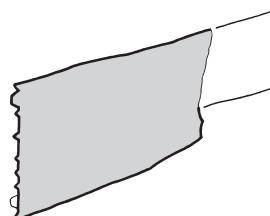
91 均整唐草文I



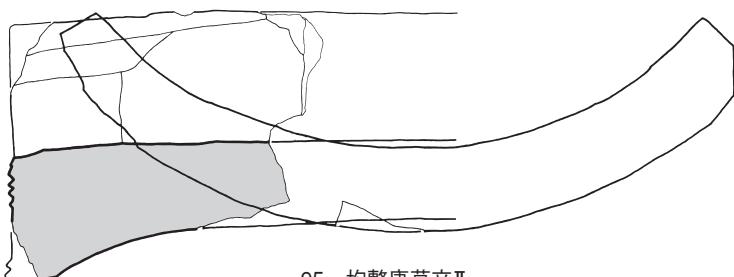
90 6572D



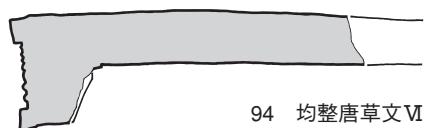
93 均整唐草文II



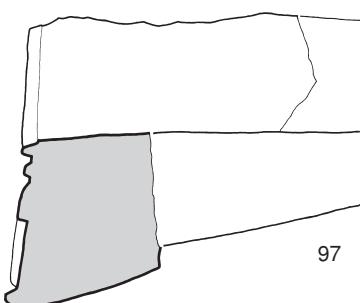
92 6642D



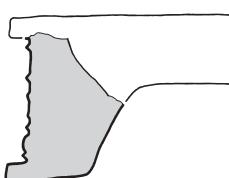
95 均整唐草文II



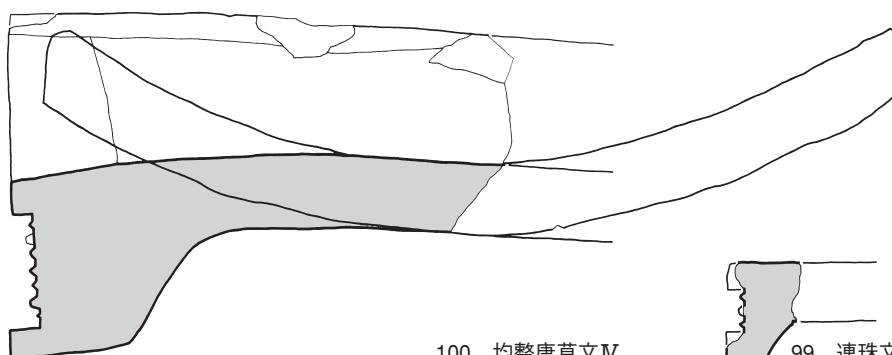
94 均整唐草文VI



97 均整唐草文III



96 文字文



100 均整唐草文IV



99 連珠文



98 均整唐草文V

0 1 : 3 20cm





1 AⅠa



2 AⅡa1



3 AⅡb1



4 AⅡd1



5 AⅢc



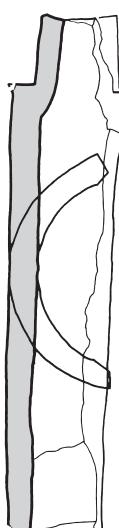
6 AⅣa



1 B Ia



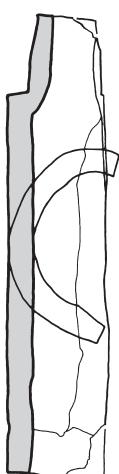
2 B IIa



3 B IIa



4 B IIb1①



5 B IIb1②



6 B IIb1③



7 B IIb2



1 BIIIb1



2 BIIIb2①



3 BIIIb2②



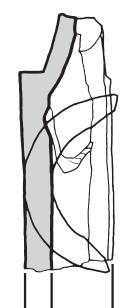
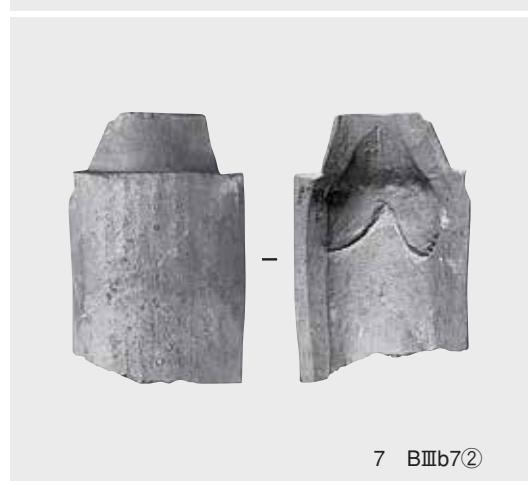
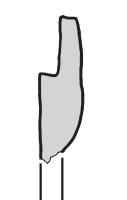
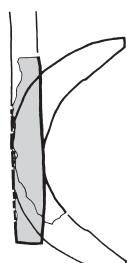
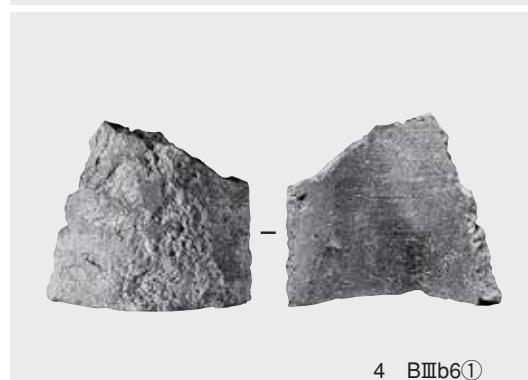
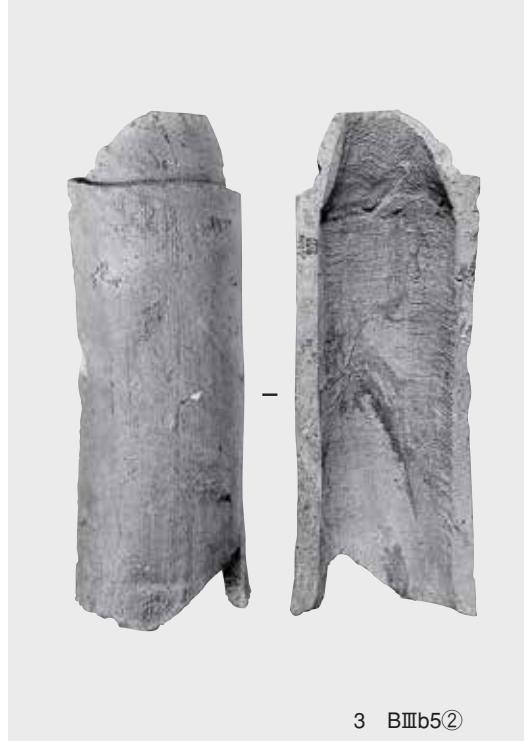
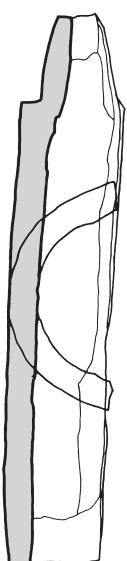
4 BIIIb2③



5 BIIIb2④



6 BIIIb3





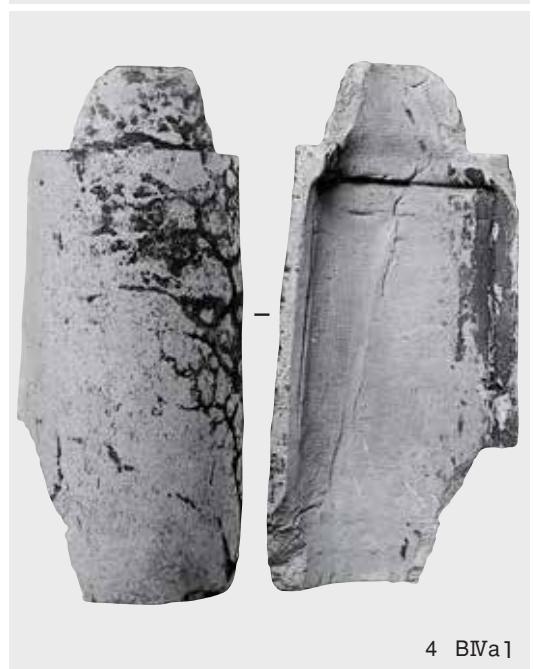
1 BIIIb7③



2 BIIIb7④



3 BIIIb8



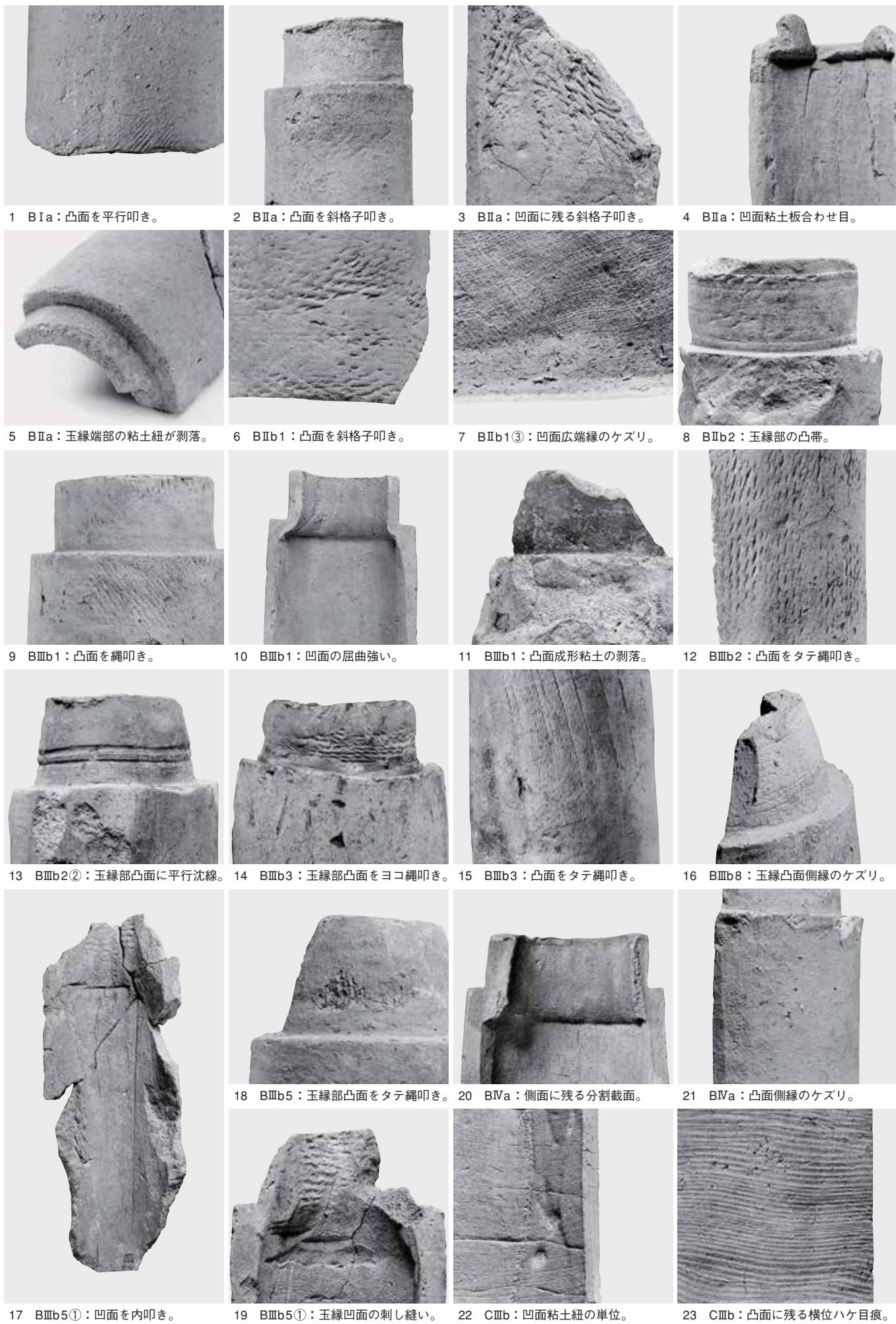
4 BIVa1



5 BIVa2



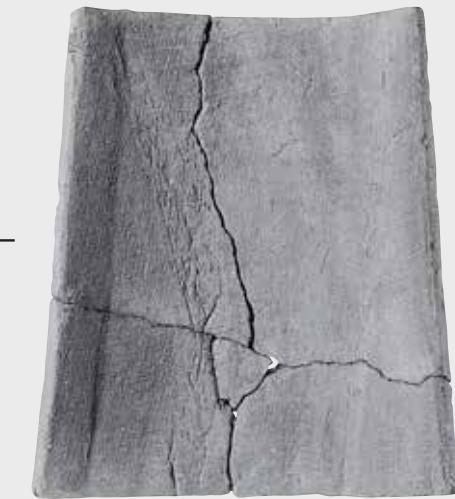
6 CIIIb





1 1AI

1 平瓦1類A I。凸面、格子叩き目をヨコナデ調整。その上をキザミのない叩き板で叩く。凹面は調整なし。布綴じ1a。



2 1AII

2 平瓦1類A II。A Iより小ぶり。凸面は全面ヨコナデ調整。凹面に布綴じ1c。綴じ目と縫い目の痕跡をヘラケズリする。



3 1AIII

3 平瓦1類A III。A IIよりさらに小ぶり。凸面は全面ヨコナデ調整。凹面に布綴じ1j。綴じ目痕をヘラケズリ。

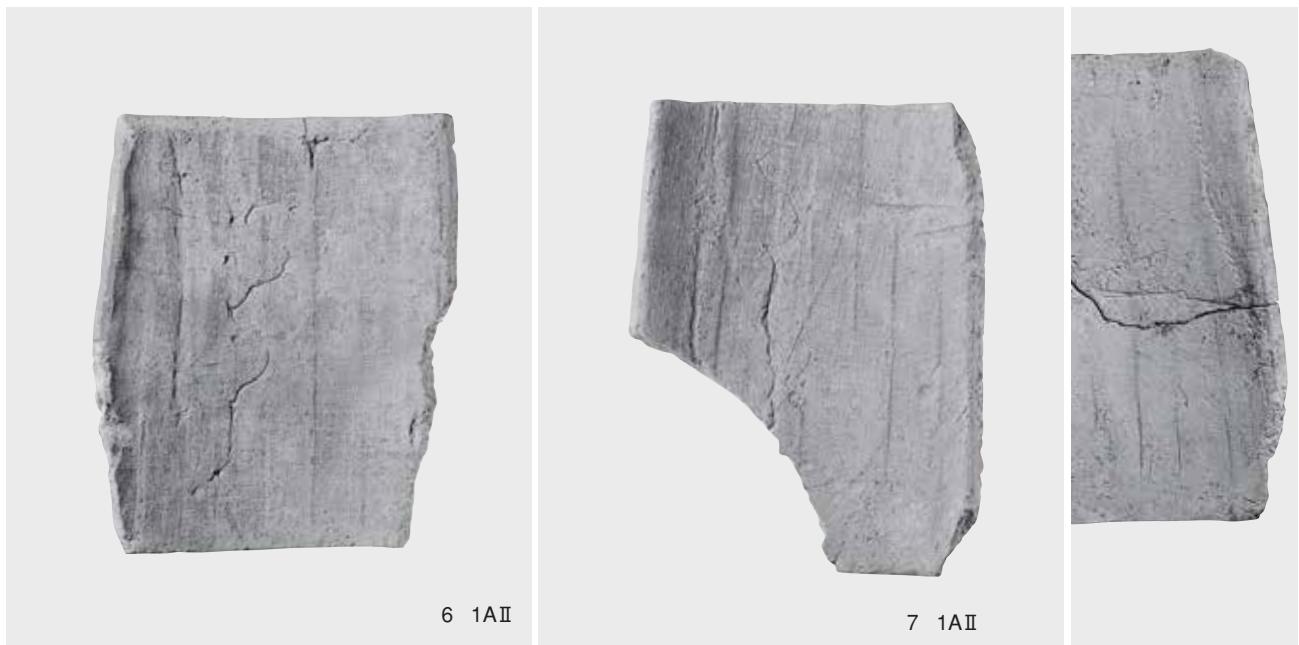
1 : 6



4 平瓦1類A II。凸面は全面ヨコナデ調整。凹面に布綴じ1b。綴じ目痕と縫い目痕をユビナデ。



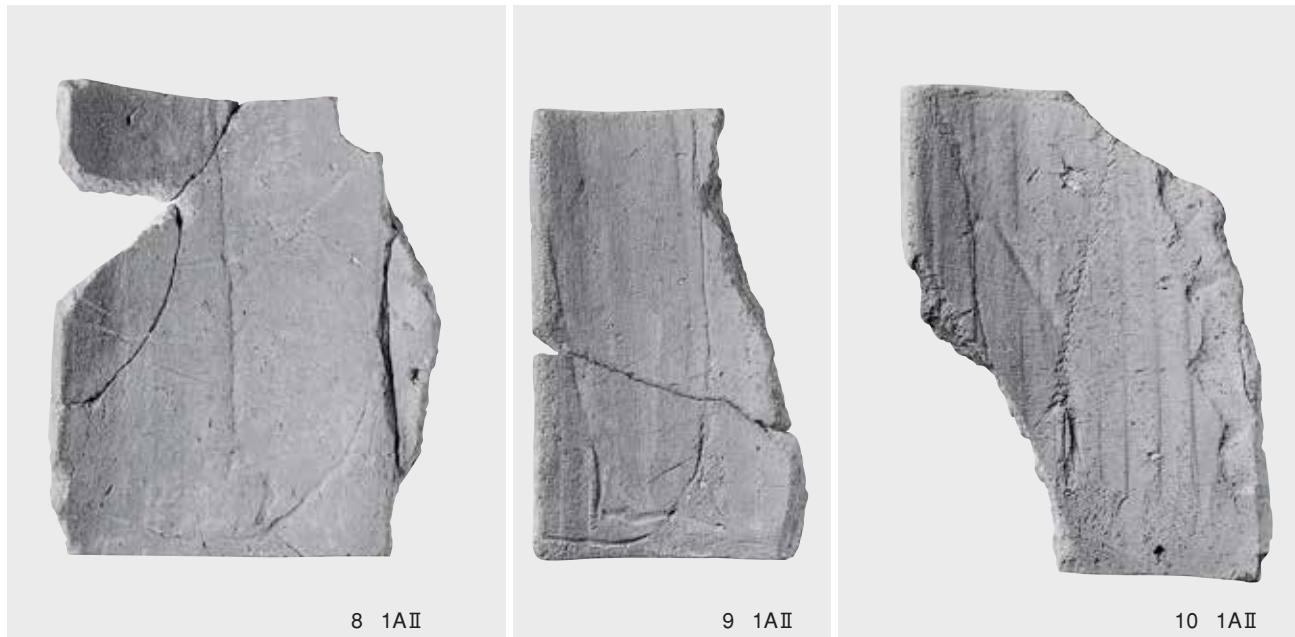
5 平瓦1類A II。凸面斜格子叩き目をヨコナデ調整。凹面に布綴じ1d。綴じ目痕をユビナデ。



6・7 平瓦1類A II。布綴じ1cにともなう縫いの痕跡。2例とも同位置に粘土板合わせ目S。

1 布綴じ1b細部。

1 : 6



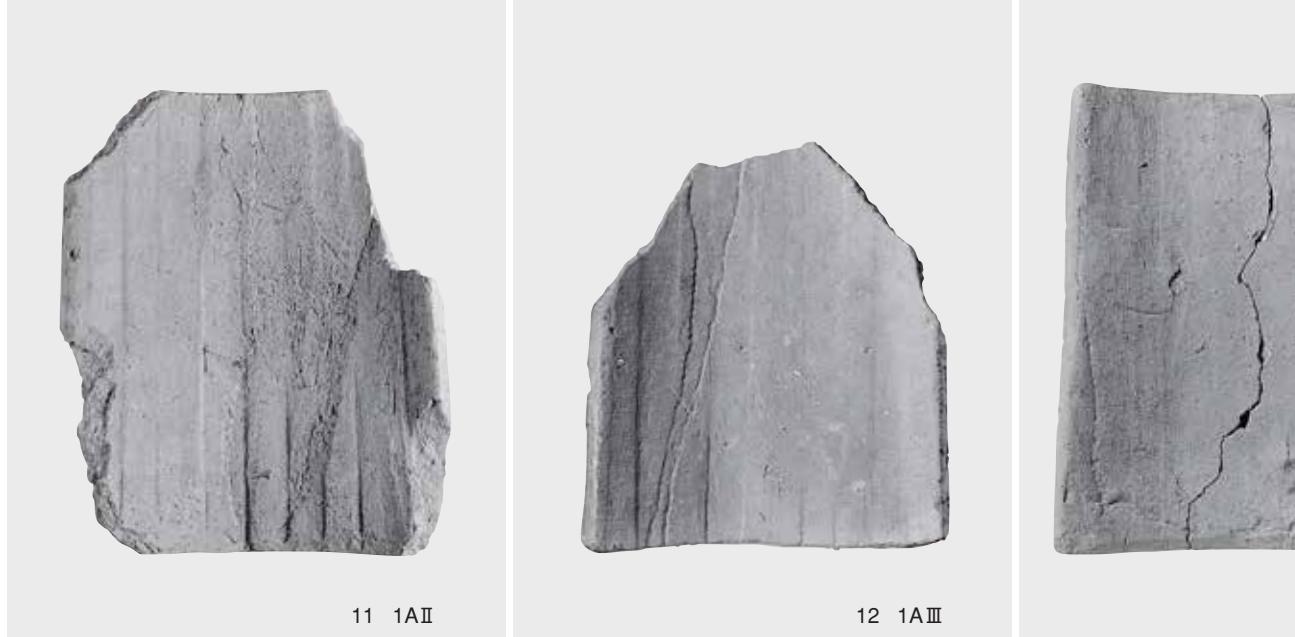
8 1AII

9 1AII

10 1AII

8・9 平瓦1類AII。布綴じ1e。折り山をとらず、布を巻き付けて縫う。

10 布綴じ1f。綴じ目が開き加減。



11 1AII

12 1AIII

11 布綴じ1g。紐の分割凸帯痕あり。

12 平瓦1類AIII布綴じ1h。折り山は幅狭い。

1 布綴じ1k。



13 1AIII

14 1AIII

13 平瓦1類AIII。布綴じ1m。

14 布綴じ1n。綴じ目で縫いする。

2 布綴じ1mの縫い?



15 平瓦1類BI。凸面両側縁に面取りのヘラケズリがない。凹面は大半調整しないが、布綴じ（1p）だけをユビナデ調整。



16 平瓦1類BII。BIより一回り小型。粘土板合わせ目Zをヘラケズリ。それ以外は調整しない。布綴じ1q。



17 平瓦1類BIII。BIIよりさらに広端幅が小さい。凹面は調整しない。布綴じ1yの縫い目痕。





23 平瓦1類C I。凹面にヘラケズリ調整。凹面右縁に布綴じ1 α と粘土板合わせ目S。



24 平瓦1類C II。狭端幅が小さい。凸面に格子叩き目。凹面全面をナデとヘラケズリで調整。かすかに布綴じ1 β の綴じ目痕。

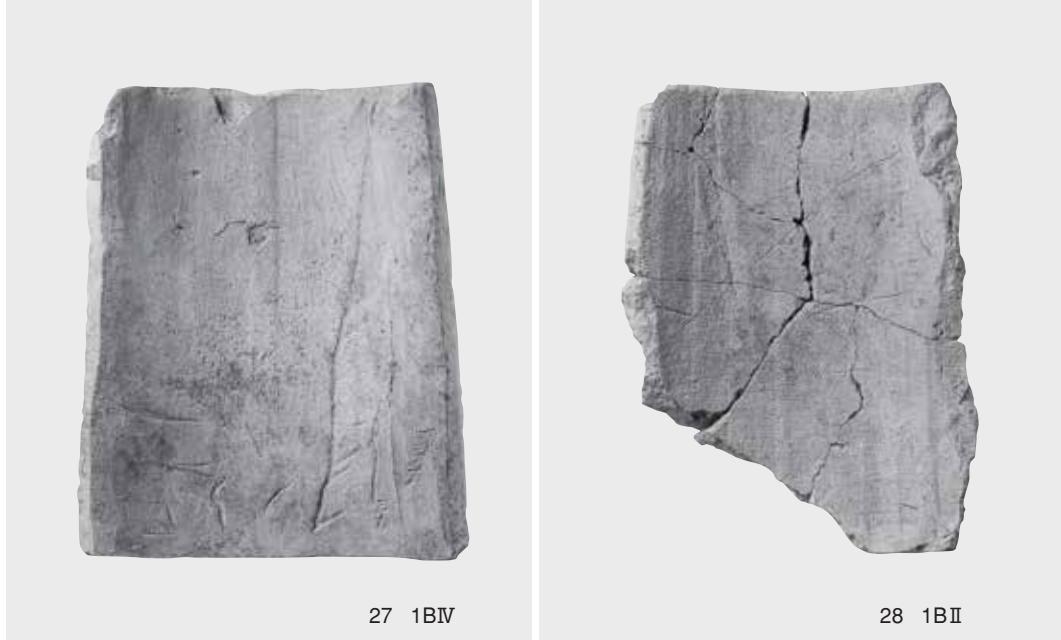


25 平瓦1類C III。広端幅が小さい。凹面の半分ほどをヘラケズリ調整。



26 1CIV

26 平瓦1類CIV。凹面縁の面取りを数回幅広く行うため、側辺の断面が丸い。凹面に布綴じ1γ。凸面に斜格子叩き目。



27 1BIV

27 平瓦1類BIV。布綴じ1z。



28 平瓦1類BIIの襞縫い痕。両側縁は打ち欠く。

29 1BIII

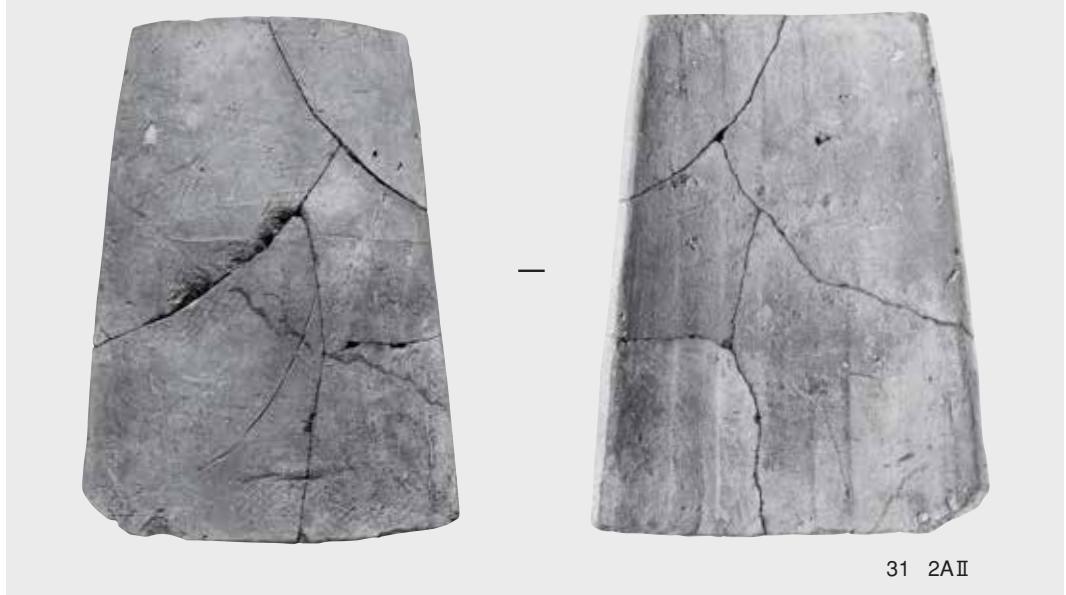
29 平瓦1類BIII布綴じ1yの綴じ目痕。

1 : 6 (1を除く)

1 屋根葺き時に側面を削るように打ち欠いた痕跡。28の打ち欠きと比較。



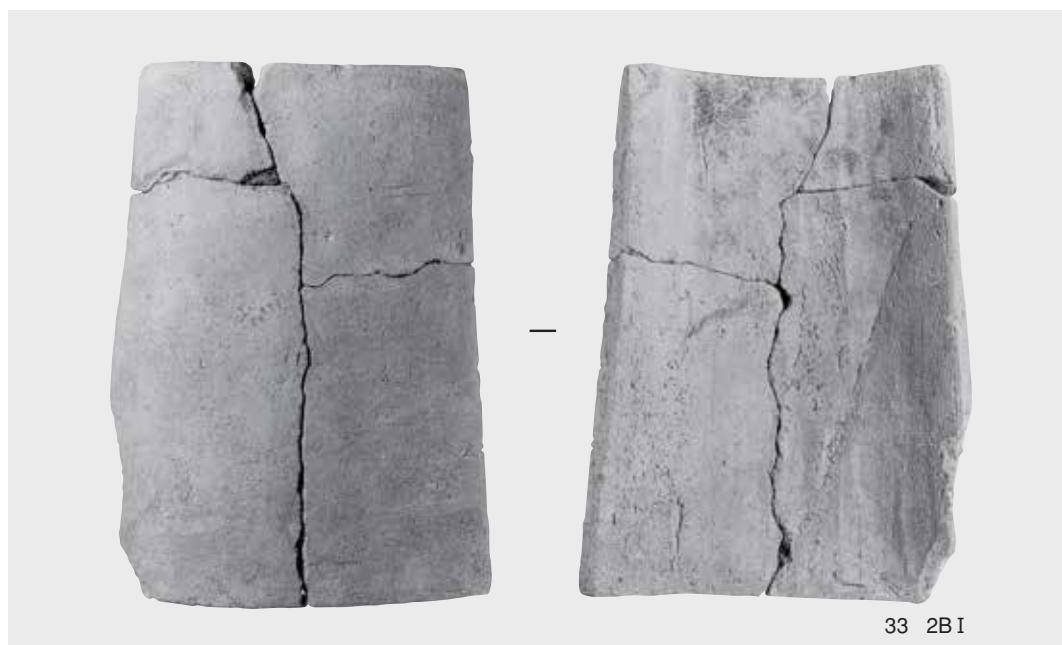
30 平瓦2類AI。凸面格子叩き目をヨコナデ調整。凹面に布綴じ2aと粘土板合わせ目S型。側面に分割截面が残る。



31 平瓦2類AII。広端に斜格子刻線叩き板側縁の痕跡。広端隅を焼成前に切り欠き。凹面中央やや下に布の破れあり。



32 平瓦2類AIII。広端幅小。凸面は格子叩き目をヨコナデ調整。凹面に粘土板合わせ目Z型。



33 平瓦2類BⅠ。凸面格子叩き目を丁寧にヨコナデ調整。凹面はナデとケズリで調整。布綴じ2eと粘土板合わせ目S型。



34 平瓦2類BⅡ。凸面ヨコナデ調整。斜格子叩き目がかすかにある。凹面は全面タテにヘラケズリ調整。撲り紐の分割凸帯痕。



35 平瓦2類BⅢ。広端幅小。凸面は格子叩き目をヨコナデ調整。凹面ほぼ全面をタテナデ調整。

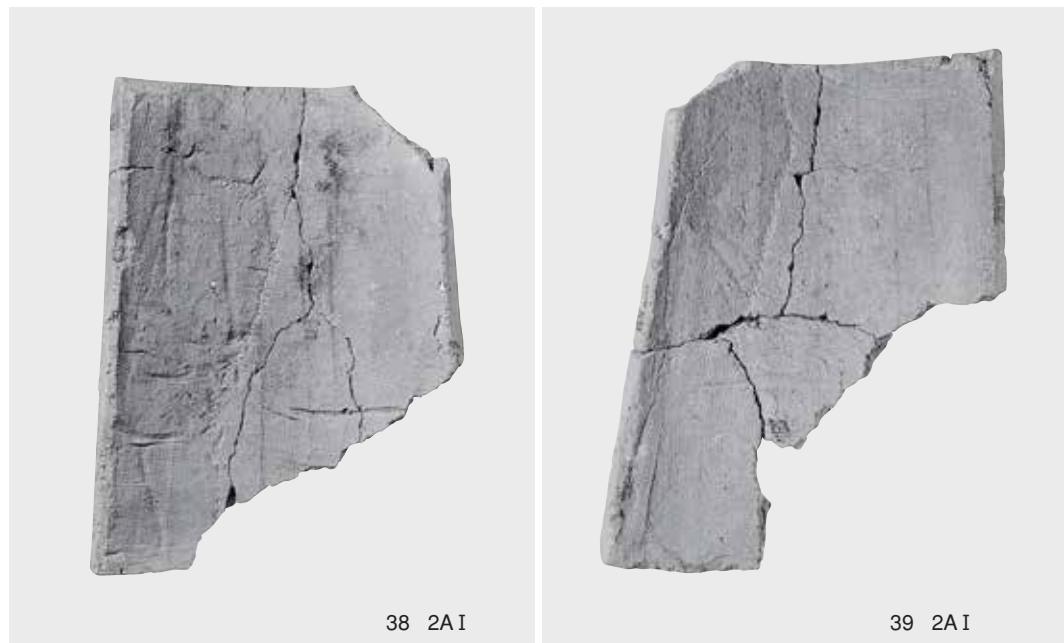
1 : 6



36 平瓦2類B I。凸面にかすかに格子叩き目。凹面は全面ナデ調整。布綴じ2h。



37 平瓦2類B I。凸面は斜格子叩き目をヨコナデ調整。凹面左側に布綴じ2jの縫い目痕。



38 平瓦2類A I。布綴じ2b。

39 平瓦2類A I。布綴じ2c。綴じ目・縫い目痕とも蛇行する。



40 平瓦2類AI。凹面右側に布綴じ2dの布綴じ。



41 平瓦2類AII。布の破れがPh.141-31と一致。



42 平瓦2類BI。布綴じ2f。



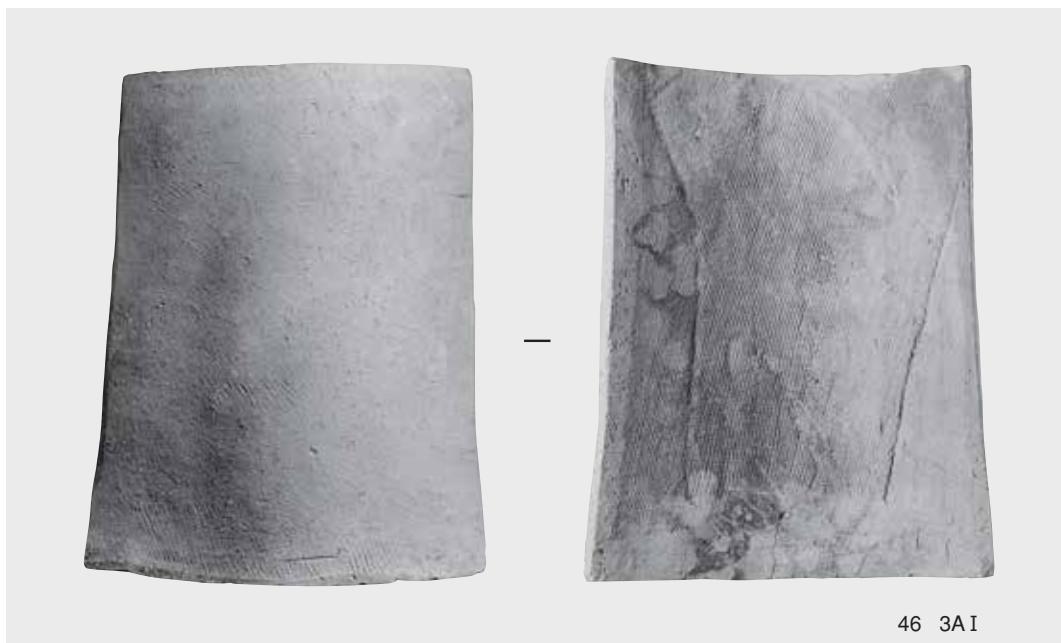
43 平瓦2類BI。布綴じ2g。



44 平瓦2類BI。布綴じ2k。

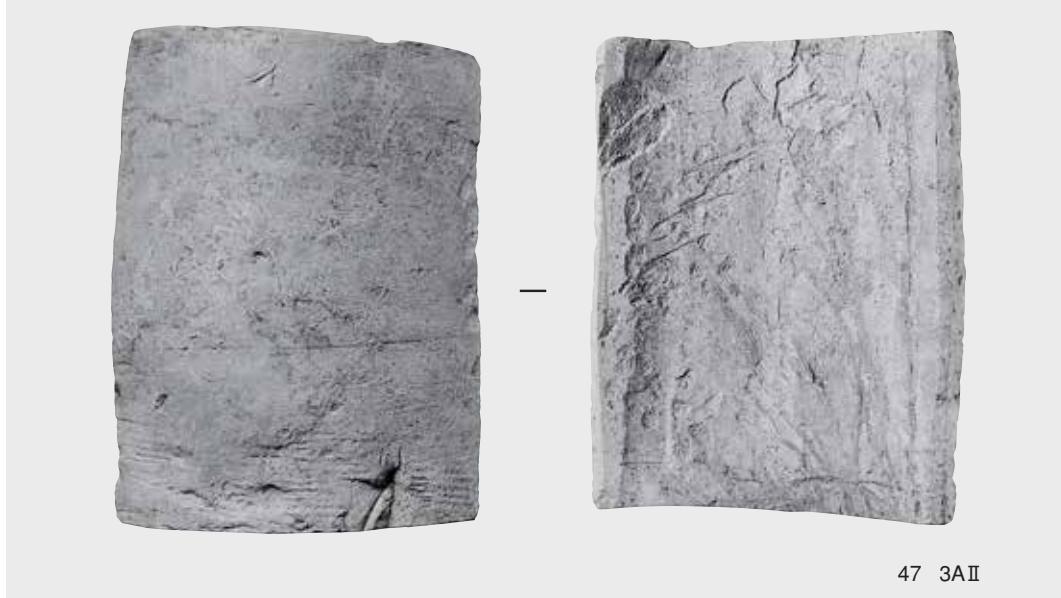


45 平瓦2類AII。布綴じ2m。



46 3AI

46 平瓦3類AI。凸面に木目斜交の平行叩き目。布綴じ3a1。左に縫い目痕、右に綴じ目痕。



47 3AII

47 平瓦3類AII。凸面に木目平行・直交の格子叩き目。凹面側縁の面取り幅が大きい。



48 3B

48 平瓦3類B。凹面を全体にナデ調整。凸面に木目斜交の平行叩き目。織りの粗さからみて布綴じ3aの布か。



49 3AI



50 3AI

49 平瓦3類A I。布綴じ3a1。2条のハ字形綴じ目痕。

50 布綴じ3a1。右側の綴じ目痕と縫い目痕。



51 3AI



52 3AI

51 布綴じ3a2。2条の綴じ目痕の間隔狭い。

52 布綴じ3a2。綴じ目痕の左に縫い目痕なし。



53 3AI



54 3AI

53 平瓦3類A I。布綴じ3b。

54 布綴じ3c。折り山が綴じ目の裏で蛇行する。



55 3AI

55 平瓦3類A I 布綴じ3d。綴じ目まつり縫い。



56 3AI

56 布綴じ3f。右端にまつり縫いの綴じ目痕。



57 3AI

57 布綴じ3g。左傾するぐし縫いの綴じ目痕。



58 3AI

58 布綴じ3h。綴じ目と縫い目が平行する。



59 3AI

59 木目斜交の細組2種の斜格子叩き目。



60 3AI

60 左右で2種の叩き目。叩き板の幅7cmほど。



1 平瓦3類AⅠ。分割截線は凹面側から。

61 広端右隅に三角形の突起のある側板痕。

61 3AⅠ



62 平瓦3類AⅡ。凸面平行叩き目の例。凹面に布綴じ3j。

62 3AⅡ



63 3AⅡ

64 3AⅡ

63 平瓦3類AⅡ。布綴じ3j。

1:6 (1を除く)

64 平瓦3類AⅡ。布綴じ3k。



65 4A

65 平瓦4類A。凸面に木目斜交の細かい斜格子叩き目。凹面に布綴じ4a。綴じ目と縫い目がほぼ平行する。



66 4A

66 平瓦4類A。凸面に木目斜交の平行叩き目。凹面に布綴じ4j2。Ph.152-80と綴じ目痕は同一だが、ほどける。



67 4A

67 平瓦4類A。凸面に木目斜交の細かな斜格子叩き目。凹面に布綴じ4q。折り山の幅広い。



68 4A



69 4A

68 平瓦4類A。木目に直交する平行叩き目。

69 木目に斜交する平行四辺形の斜格子叩き目。



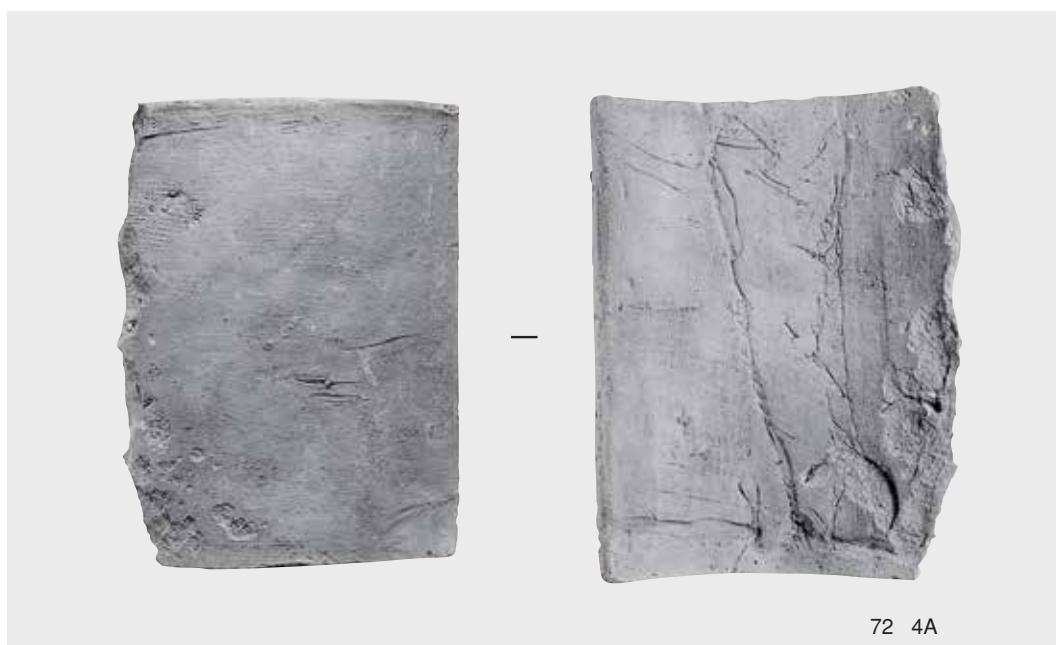
70 4A



71 4A

70 木目に斜交する粗い格子叩き目。

71 木目に斜交する平行叩き目と粗い斜格子叩き目。



72 4A

72 平瓦4類A。木目に平行・斜交する斜格子叩き目。凹面に布綴じ4b。

1 : 6